

藤女子大学収容定員関係学則変更届出書

2024年 4月 26日

文部科学大臣 殿

藤女子大学

学長 渡邊 頼純

このたび、藤女子大学の収容定員に係る学則を変更することについて、学校教育法第4条第2項及び学校教育法施行令第23条の2第1項の規定により、別紙書類を添えて届け出ます。
なお、届出の上は、確実に届出に係る計画を履行します。

基本計画書

基本計画書										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更									
フリガナ設置者	ガッコウホリジン フジテンシカクエン 学校法人 藤天使学園									
フリガナ大学の名称	フジシヨウダク 藤女子大学 (Fuji Women's University)									
大学本部の位置	北海道札幌市北区北十六条西二丁目1番1号									
大学の目的	教育基本法及び学校教育法に従い、設立母体である殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会が掲げるカトリック精神に基づいて、人間性豊かな教育を行うことを目的とする。									
新設学部等の目的	文学部英語文化学科、日本語・日本文学科、文化総合学科の3学科は、昨今の18歳人口減少の影響を受け、ここ数年入学希望者が減少して定員を充足できていない状況である。本学志願者のニーズを充たし、入学定員充足率のアンバランスを解消し、大学全体として教育の質的充実を実現するため定員変更を行う。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
	文学部 【Faculty of Humanities】	年	人	年次人	人	学士（文学） 【Bachelor of Arts】	文学関係	年月 第 年次 令和7年4月 第1年次	北海道札幌市北区北16条西2丁目1番1号	
	英語文化学科 【Department of English Language and Culture】	4	80 (90)	—	320 (360)	学士（文学） 【Bachelor of Arts】	文学関係	令和7年4月 第1年次	同上	
	日本語・日本文学科 【Department of Japanese Language and Literature】	4	80 (90)	—	320 (360)	学士（文学） 【Bachelor of Arts】	文学関係	令和7年4月 第1年次	同上	
	文化総合学科 【Department of Arts and Sciences】	4	80 (90)	—	320 (360)	学士（文学） 【Bachelor of Arts】	文学関係	令和7年4月 第1年次	同上	
計										
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	令和7年4月名称変更予定 人間生活学部→ウェルビーイング学部 人間生活学部→地域創生学科 食物栄養学科→食環境マネジメント学科									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計	単位				
		科目	科目	科目	科目					
	学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）		
		教授	准教授	講師	助教	計				
新設	文学部 英語文化学科	6人 (6)	3人 (3)	2人 (2)	0人 (0)	11人 (11)	0人 (0)	0人 (0)		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	8 (8)			大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 5人	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	2 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (3)				
	小計（a～b）	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計（a～d）	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)				
	文学部 日本語・日本文学科	6人 (6)	1人 (1)	3人 (3)	0人 (0)	10人 (10)	0人 (0)	0人 (0)		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	8 (8)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)				
小計（a～b）	6 (6)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	10 (10)					
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					

	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計(a~d)	6 (6)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	10 (10)			
	文学部 文化総合学科	4 (4)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	2 (2)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	9 (9)			大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 5人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計(a~b)	2 (2)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	9 (9)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計(a~d)	4 (4)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	11 (11)			
分	計	16 (16)	11 (11)	5 (5)	0 (0)	32 (32)	0 (0)	1 (1)	
既	ウェルビーイング学部 地域創生学科	8 (8)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 5人 令和6年4月名称変更届出
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計(a~b)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計(a~d)	8 (8)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	11 (11)			

設	ウェルビーイング学部 食環境マネジメント学科		3	4	3	0	10	5	0	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 6 人 令和6年4月 名称変更届出		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		3	3	3	0	9	/	/			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0	1	0	0	1					
	小計（a～b）		3	4	3	0	10					
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0	0	0	0	0					
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当		0	0	0	0	0					
	計（a～d）		3	4	3	0	10					
			(3)	(4)	(3)	(0)	(10)					
	ウェルビーイング学部 子ども教育学科		8	1	2	0	11				0	0
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		8	1	2	0	11				/	/
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）		0	0	0	0	0						
小計（a～b）		8	1	2	0	11						
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）		0	0	0	0	0						
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当		0	0	0	0	0						
計（a～d）		8	1	2	0	11						
		(8)	(1)	(2)	(0)	(11)						
計		19	7	6	0	32	5	—				
		(19)	(7)	(6)	(0)	(32)	(5)	(—)				
合 計		35	18	11	0	64	5	—				
		(35)	(18)	(11)	(0)	(64)	(5)	(—)				
職 種		専 属			そ の 他			計				
事 務 職 員		43人 (47)			10人 (10)			53人 (57)				
技 術 職 員		1 (1)			1 (1)			2 (2)				
図 書 館 職 員		6 (6)			1 (1)			7 (7)				
そ の 他 の 職 員		0			10 (10)			10 (10)				
指 導 補 助 者		0			0			0				
計		50 (54)			22 (22)			72 (76)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計					
	校 舎 敷 地	161,655㎡	0㎡		0㎡		161,655㎡					
	そ の 他	60,650㎡	0㎡		0㎡		60,650㎡					
	合 計	222,305㎡	0㎡		0㎡		222,305㎡					
校 舎	専 用	37,538㎡	0㎡		0㎡		37,538㎡					
	(37,538㎡)	(0㎡)	(0㎡)		(0㎡)		(37,538㎡)					
教室・教員研究室		教 室	室		教 員 研 究 室		室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具	標本					
		冊	冊	種	種	点	点					
	計		()	()	()	()	()	()				
			()	()	()	()	()	()				
スポーツ施設等		スポーツ施設		講 堂		厚生補導施設						
		㎡		㎡		㎡						

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費には電子ジャーナルの整備費(運用コスト含む)を含む。	
	経費の見積り	教員1人当り研究費等		430千円	430千円	430千円	430千円	一千円		一千円
	共同研究費等		7,000千円	7,000千円	7,000千円	7,000千円	一千円	一千円		
	図書購入費	30,040千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円	一千円	一千円		
	設備購入費	3,350千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	一千円	一千円		
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	文学部英語文化学科		1,091千円	911千円	906千円	906千円	一千円	一千円		
	文学部日本語・日本文学科		1,086千円	906千円	906千円	906千円	一千円	一千円		
	文学部文化総合学科		1,086千円	906千円	906千円	906千円	一千円	一千円		
	ウェルビーイング学部地域創生学科		1,138千円	958千円	958千円	958千円	一千円	一千円		
	ウェルビーイング学部食環境マネジメント学科		1,205千円	1,038千円	1,105千円	1,008千円	一千円	一千円		
	ウェルビーイング学部子ども教育学		1,160千円	980千円	980千円	980千円	一千円	一千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、手数料収入、寄付金収入等								
既設大学の状況	大学等の名称 藤女子大学									
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
	文学部	年	人	年次人	人		倍			
	英語文化学科	4	90	—	350	学士(文学)	0.89	昭和36年度	北海道札幌市北区北16条西2丁目1番1号	令和4年度入学定員増(10人)
	日本語・日本文学科	4	90	—	350	学士(文学)	0.89	昭和36年度		令和4年度入学定員増(10人)
	文化総合学科	4	90	—	350	学士(文学)	0.91	平成12年度		令和4年度入学定員増(10人)
	ウェルビーイング学部									
	地域創生学科	4	50	—	230	学士(人間生活学)	0.73	平成4年度	北海道石狩市花川南4条5丁目7番地	令和4年度入学定員減(△30人)
	食環境マネジメント学科	4	80	—	320	学士(食物栄養学)	0.59	平成4年度		
	子ども教育学	4	80	—	320	学士(教育学)	0.69	平成4年度		
大学院										
人間生活学研究科										
人間生活学専攻	2	8	—	16	修士(人間生活学)	0.87	令和2年度	北海道石狩市花川南4条5丁目7番地		
食物栄養学専攻	2	8	—	16	修士(食物栄養学)	0.28	平成14年度			
0.37	平成14年度									
0.18	平成14年度									
附属施設の概要	該当なし									

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積り及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

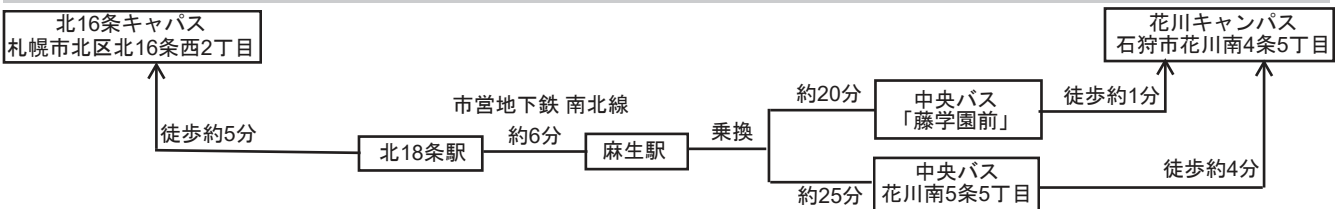
学校法人 藤天使学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
藤女子大学				藤女子大学				
文学部				文学部				
英語文化学科	90	-	360	英語文化学科	<u>80</u>	-	<u>320</u>	定員変更(△10)
日本語・日本文学科	90	-	360	日本語・日本文学科	<u>80</u>	-	<u>320</u>	定員変更(△10)
文化総合学科	90	-	360	文化総合学科	<u>80</u>	-	<u>320</u>	定員変更(△10)
人間生活学部				<u>ウェルビーイング学部</u>				名称変更
人間生活学科	50	-	200	<u>地域創生学科</u>	50	-	200	名称変更
食物栄養学科	80	-	320	<u>食環境マネジメント学科</u>	80	-	320	名称変更
子ども教育学科	80	-	320	子ども教育学科	80	-	320	
計	480	-	1920	計	<u>450</u>	-	<u>1800</u>	
藤女子大学大学院				藤女子大学大学院				
人間生活学研究科				人間生活学研究科				
人間生活学専攻(M)	8	-	16	人間生活学専攻(M)	8	-	16	
食物栄養学専攻(M)	8	-	16	食物栄養学専攻(M)	8	-	16	
計	16	-	32	計	16	-	32	

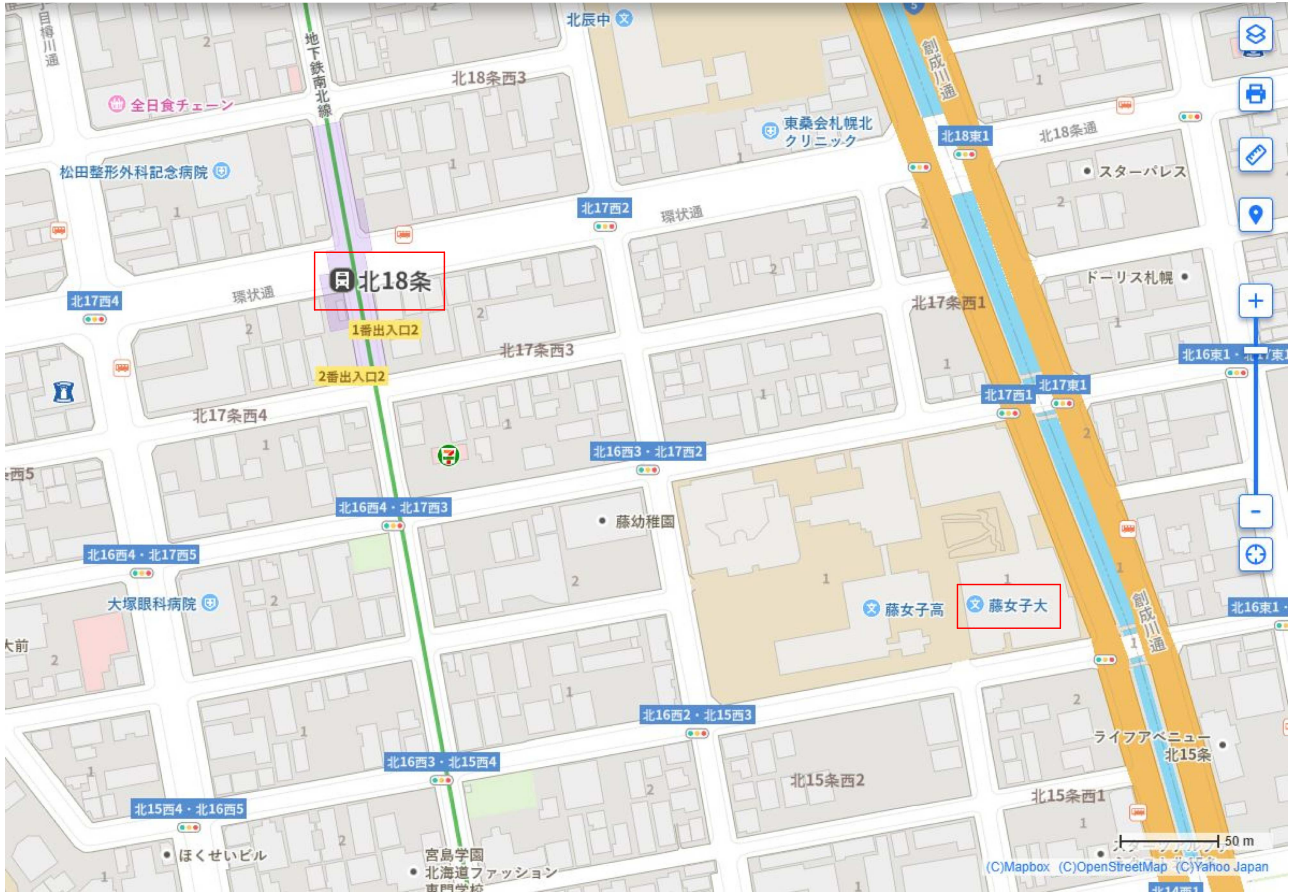
都道府県内における位置関係の図面



両キャンパス間の移動距離、時間、交通手段

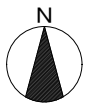


北16条校舎 最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面

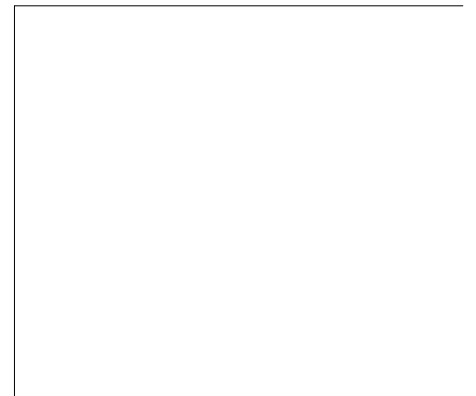
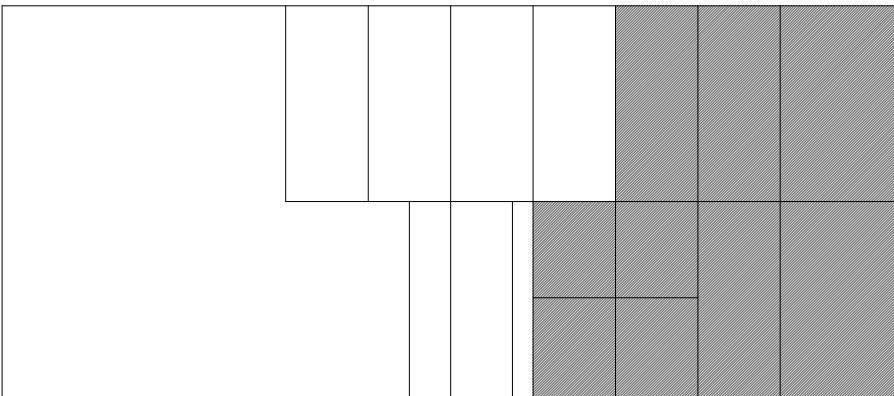
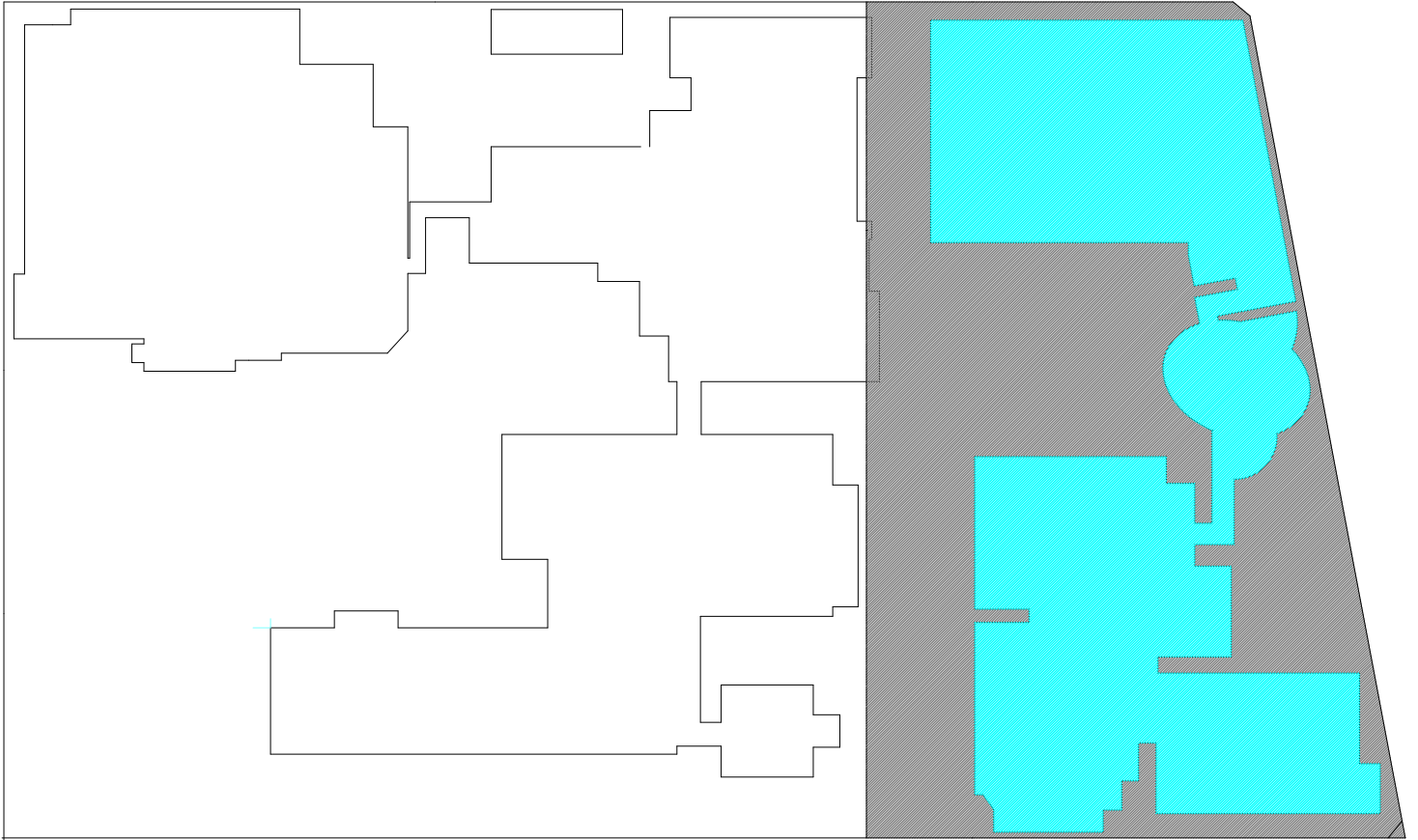


地下鉄

- 地下鉄南北線「北18条駅」下車
- 徒歩約6分



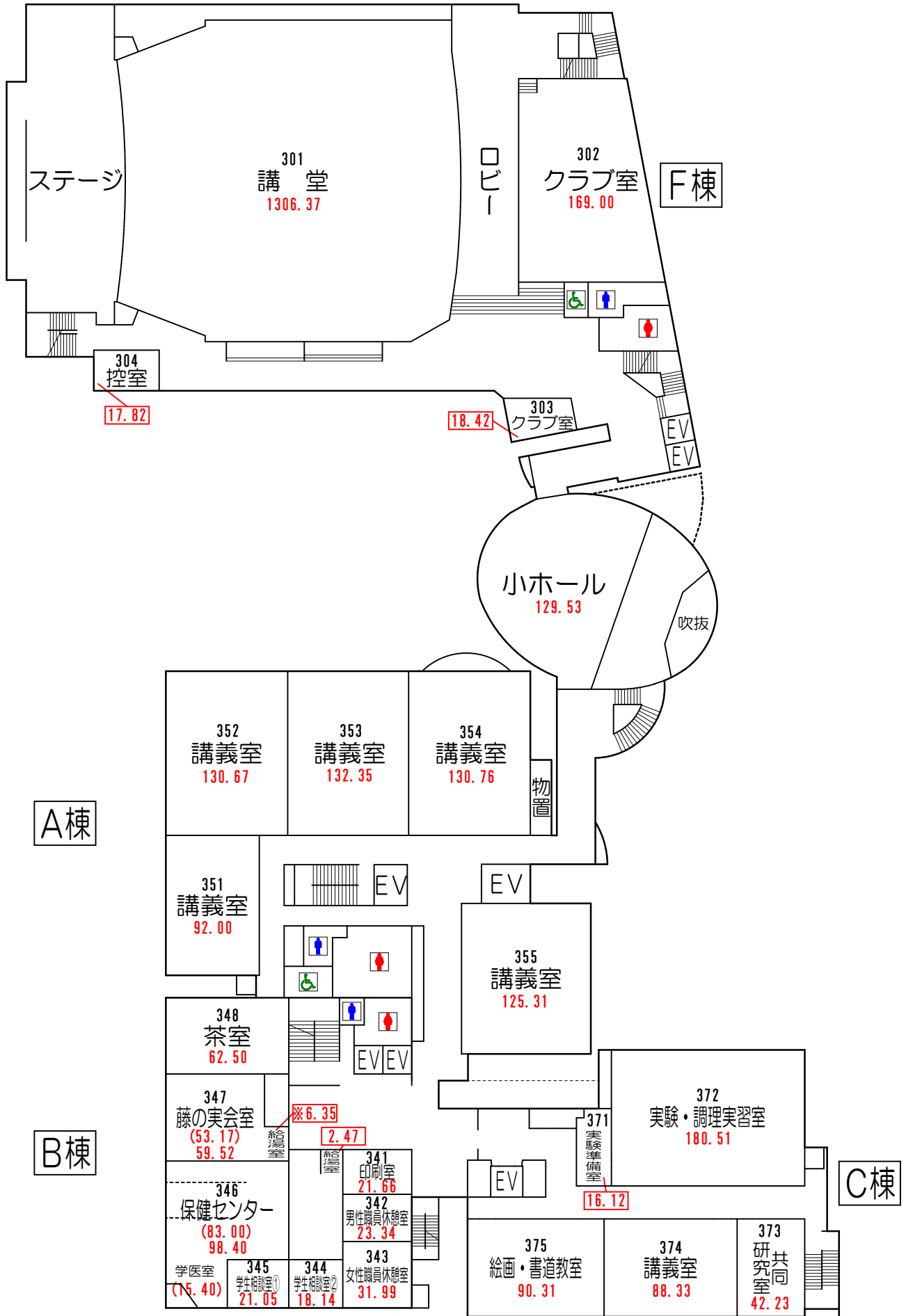
藤女子大学 北16条キャンパス
校舎、運動場等の配置図



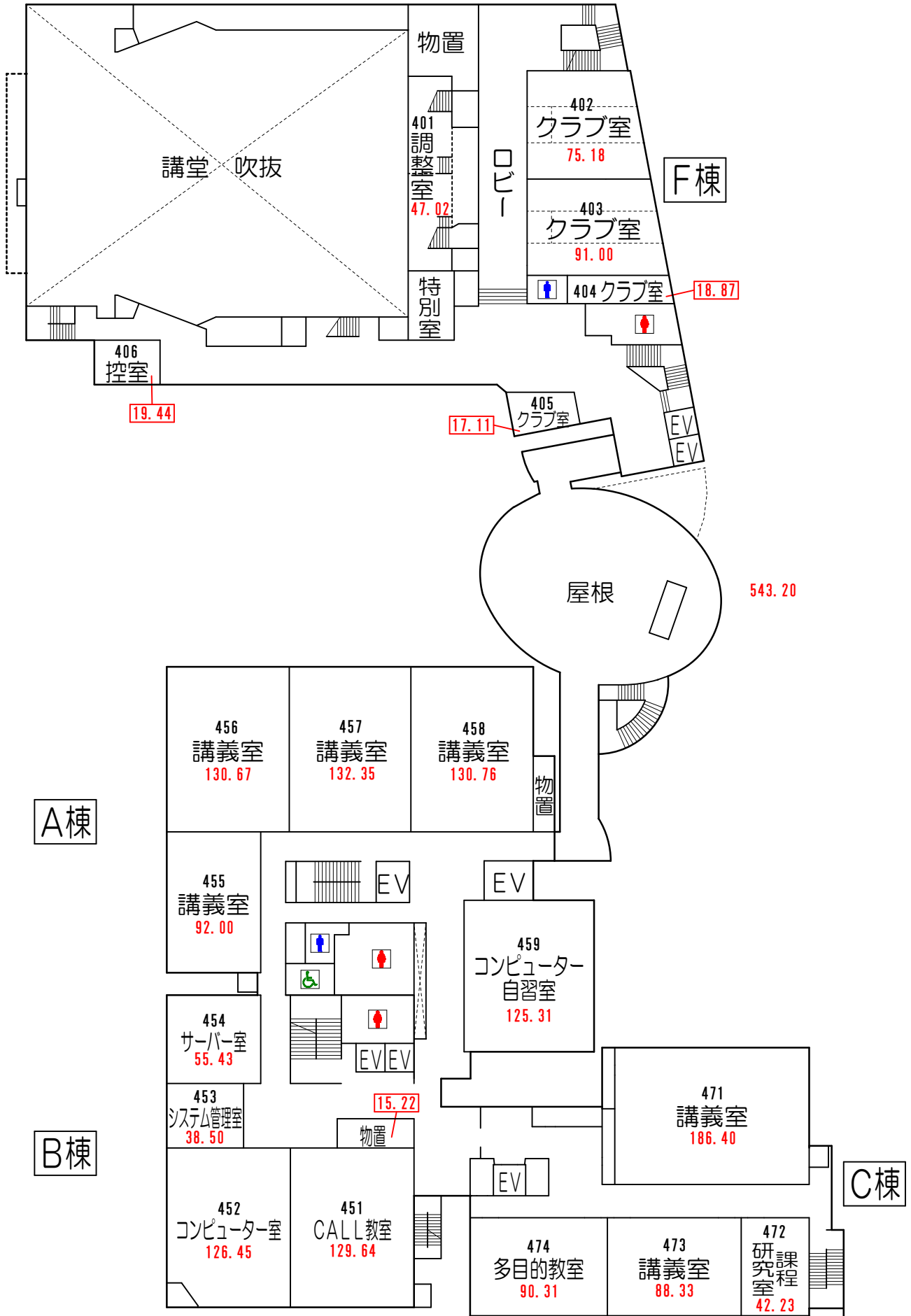
校地面積 : 9,120.72 m²
校舎面積 : 24,255.20 m²

縮尺 1 : 1000

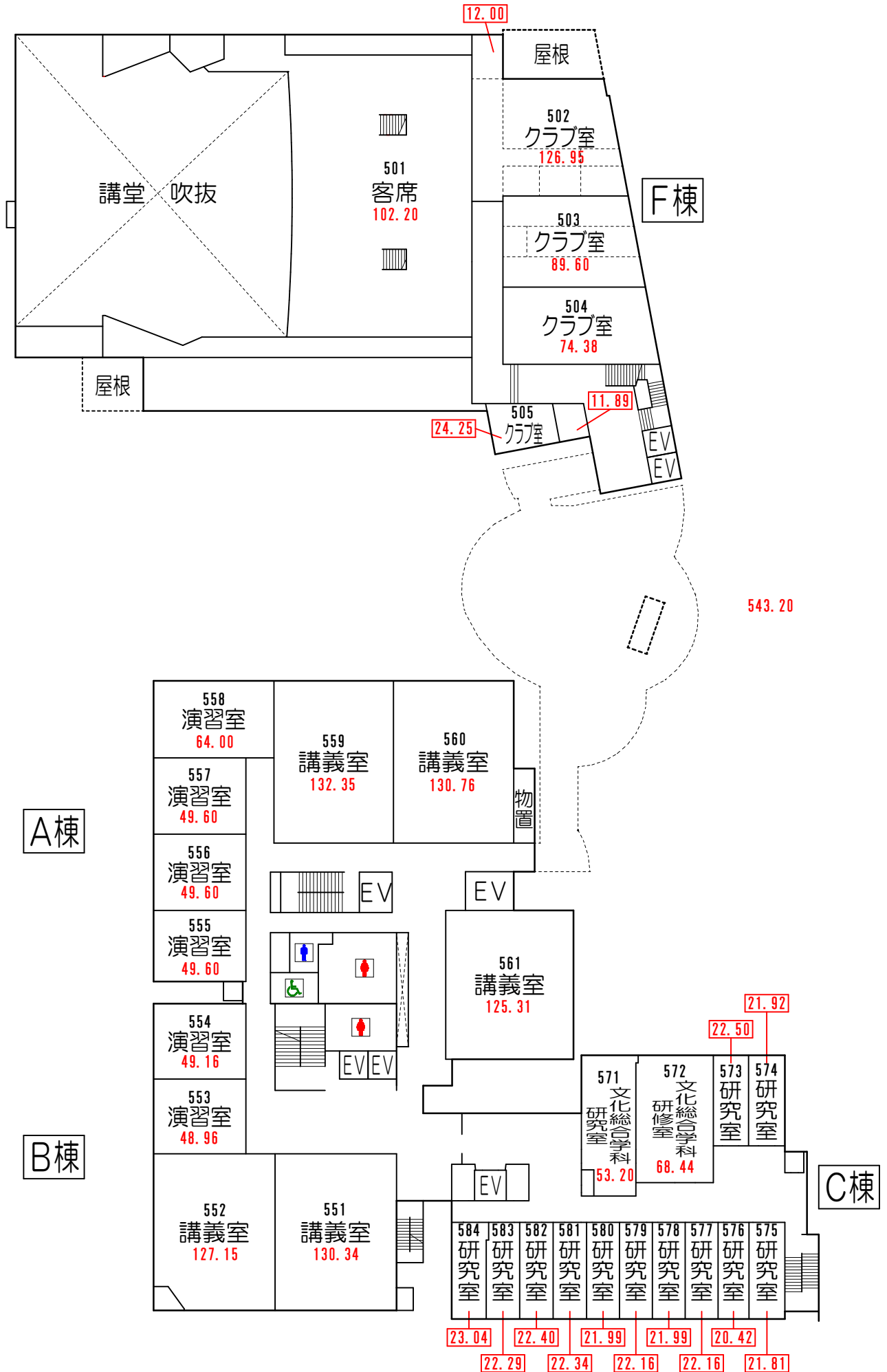
北16条校舎 3階平面図



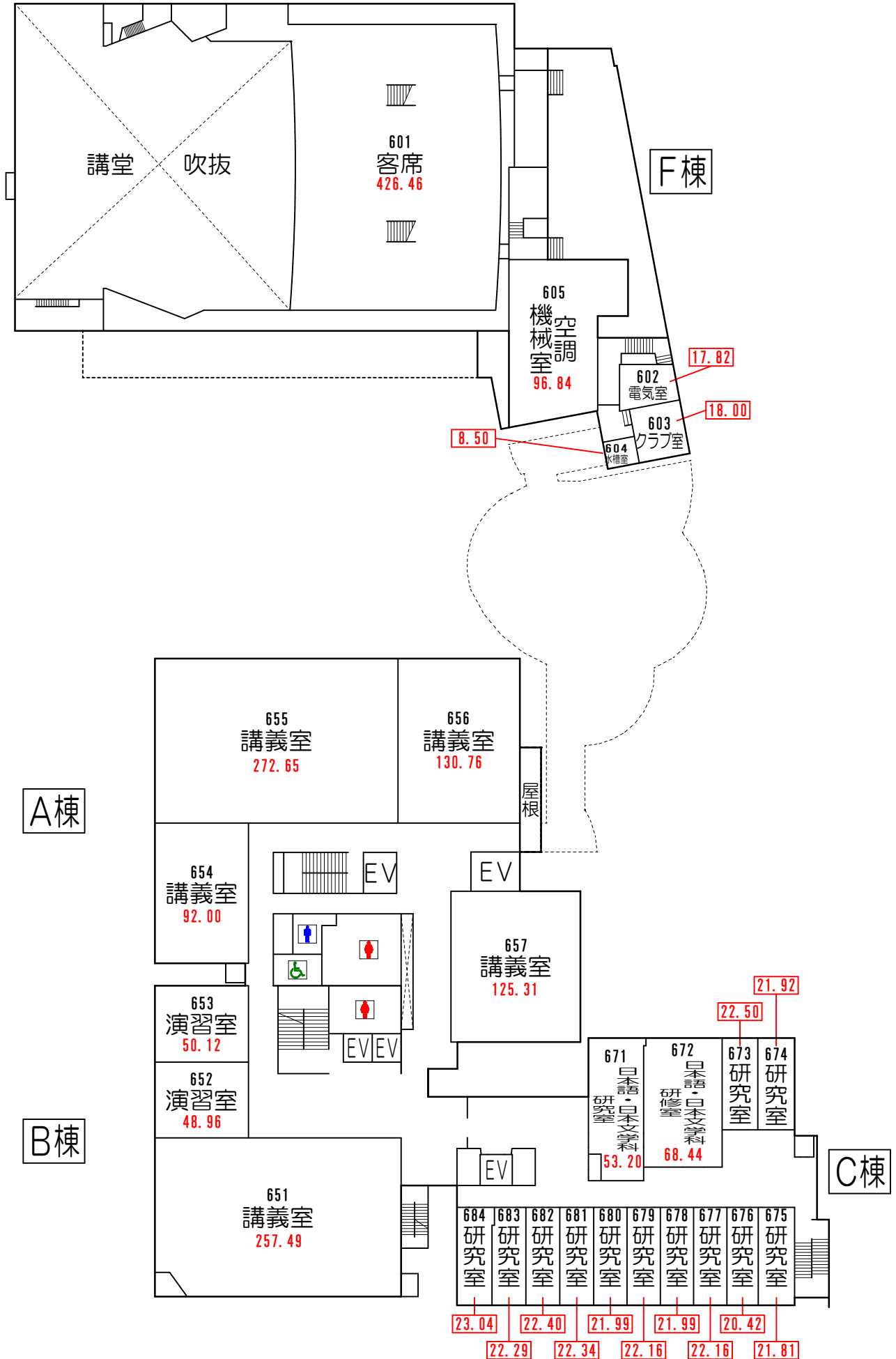
北16条校舎 4階平面図



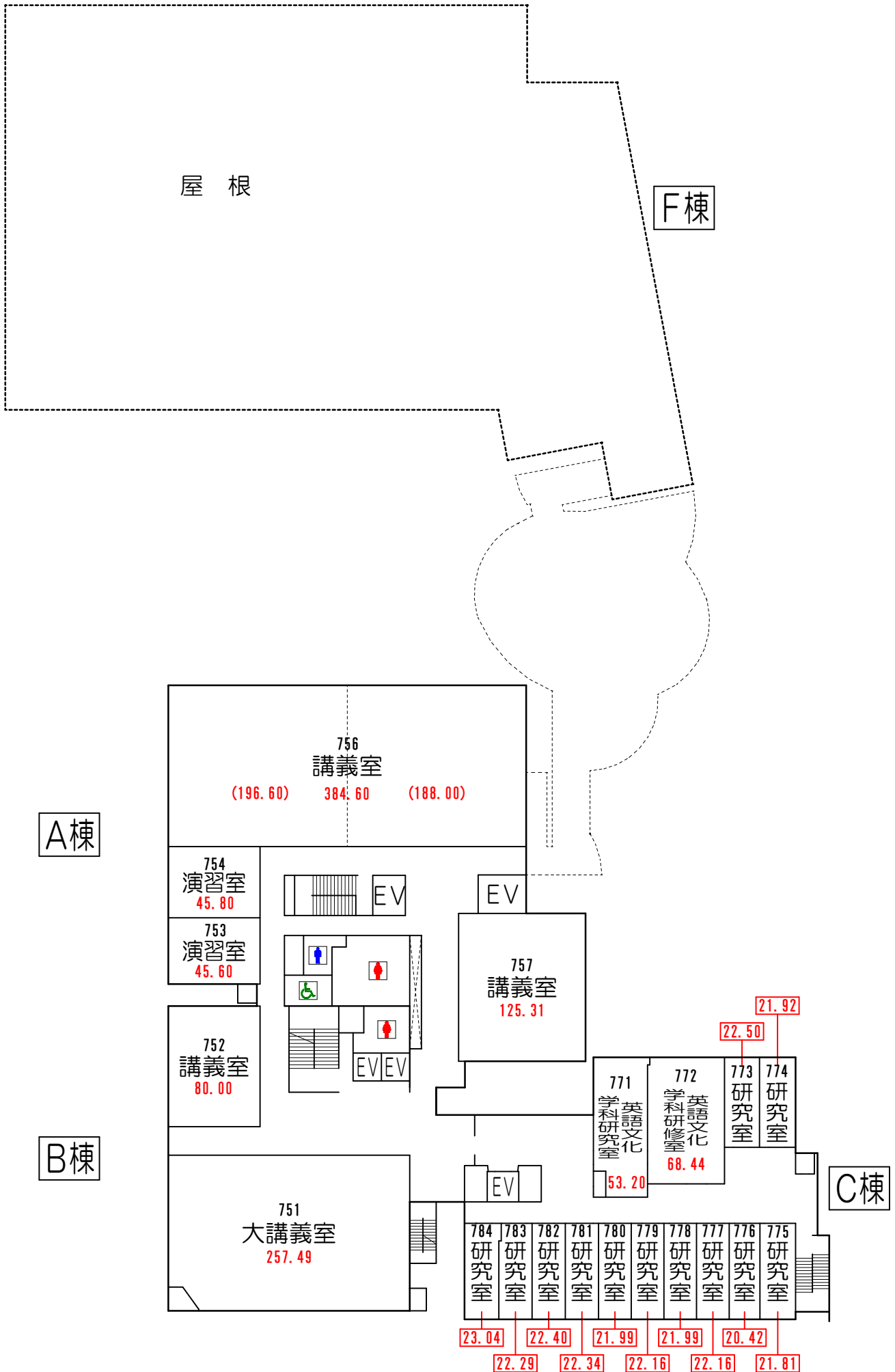
北16条校舎 5階平面図



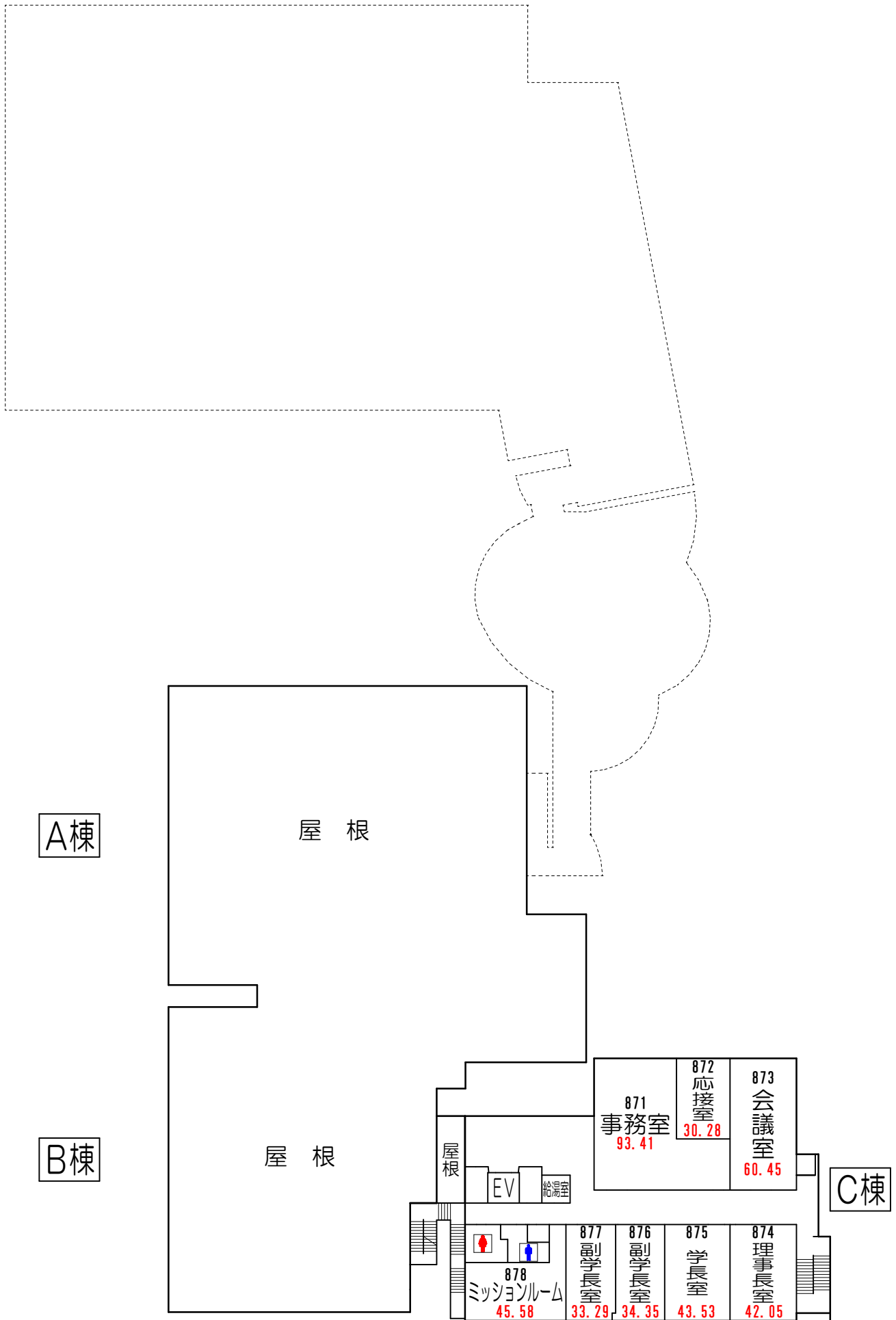
北16条校舎 6階平面図



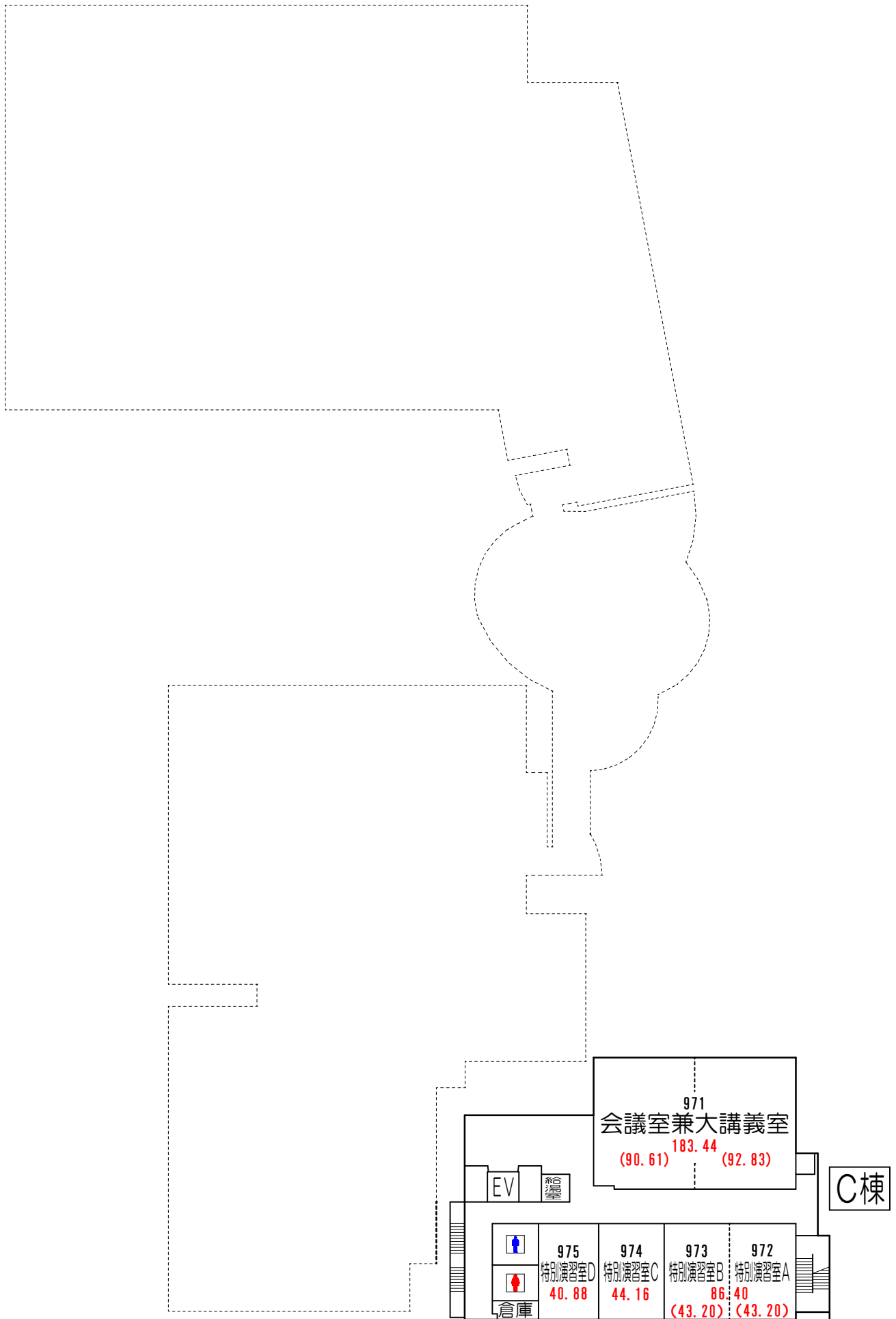
北16条校舎 7階平面図



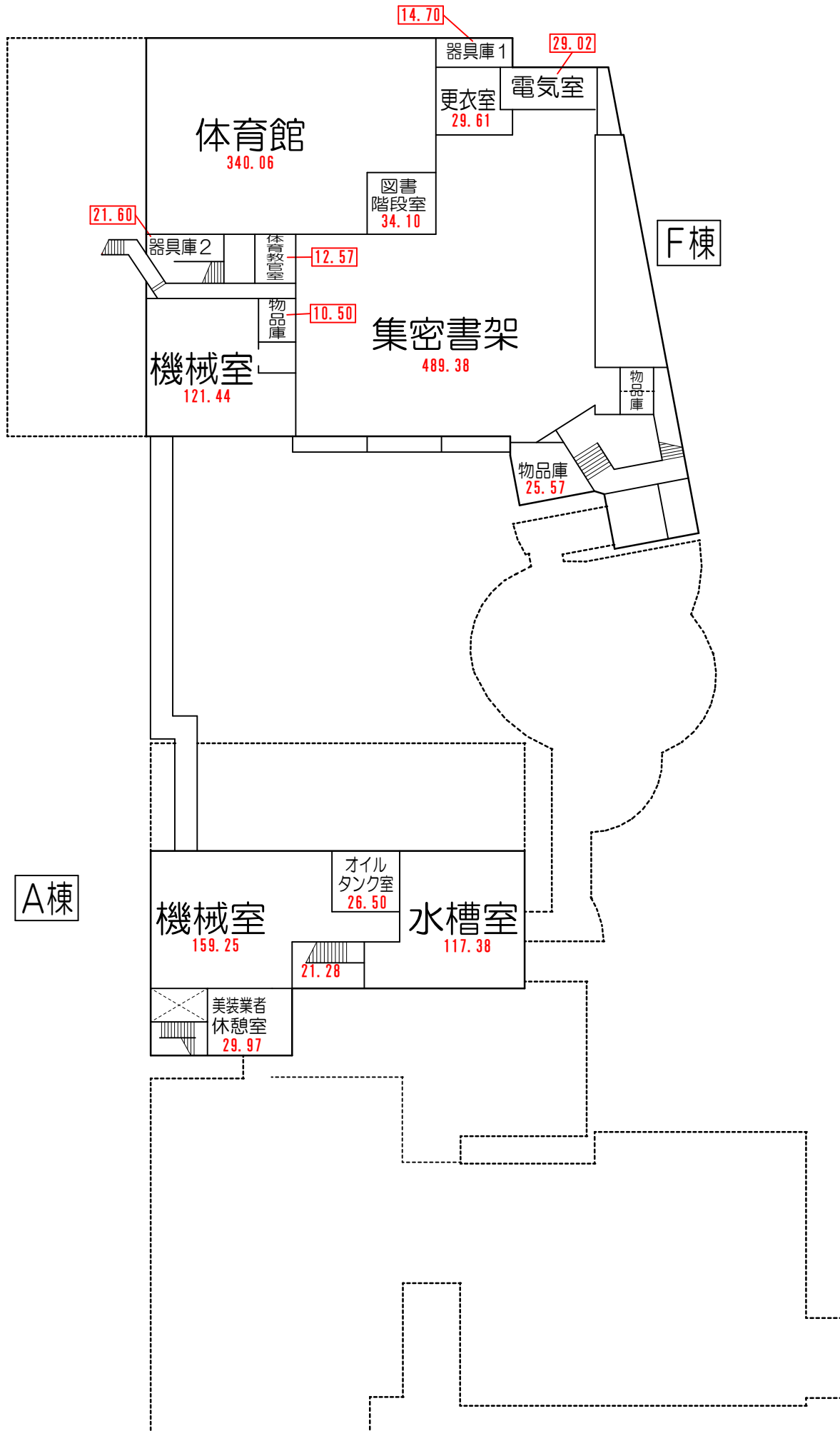
北16条校舎 8階平面図



北16条校舎 9階平面図



北16条校舎 地階平面図



○藤女子大学学則

第1章 総 則

(目的)

第1条 藤女子大学(以下「本学」という。)は、カトリック精神に基づき、教育基本法と学校教育法の定めるところに従い、高等学校教育の基礎の上に、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を研究教授し、高い徳性と知性とを具備する指導的女性を育成することを目的とする。

(大学院)

第1条の2 本学に、大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

(自己点検・評価等)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、次の活動等を行う。

- (1) 教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。
- (2) ファカルティ・ディベロップメント(授業内容及び方法を改善し向上を図るために組織的に取り組む活動をいう。)を実施する。
- (3) スタッフ・ディベロップメント(教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員を対象とした必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための活動(前号に規定する活動を除く)をいう。)を実施する。

2 前項の点検及び評価等の実施に関する基本的事項は別に定める。

(位置)

第3条 本学を、札幌市北区北16条西2丁目1番1号及び石狩市花川南4条5丁目7番地に設置する。

(学部、学科)

第4条 本学に、次の学部学科を置く。

学 部	学 科
文 学 部	英 語 文 化 学 科
	日 本 語 ・ 日 本 文 学 科
	文 化 総 合 学 科
ウェルビーイング 学部	地 域 創 生 学 科
	食環境マネジメント学科
	子 ども 教 育 学 科
人間生活学部	人 間 生 活 学 科
	食 物 栄 養 学 科
	子 ども 教 育 学 科

(学部、学科の目的)

第4条の2 文学部は、人文・社会に関する諸分野の教育を通じて、広く、深い知識と鋭敏な感性とを自らのものとし、地域社会のみならずより広範な社会環境において多角的な視野のもとで多様な課題に主体的に取り組み、社会に貢献できる女性を育てることを目的とする。

- (1) 英語文化学科は、国際言語としての英語の運用能力を高めつつ、英語圏の言語文化の社会的・歴史的諸相についての知見を養い、母語を含め、広く言語文化への関心と理解を深めていくことを目指す。その成果をもって、国際社会および地域社会の一員として他と協働し、健全な批判力と構想力をもって、自らを的確に表現することのできる女性を育てることを目的とする。
- (2) 日本語・日本文学科は、日本語学、古典から近現代までの日本文学、日本文化を入門から専門性への段階を踏んだカリキュラムに従い探究し、最終的に卒業研究(論文)を書くことを課している。そこに至るまでに思考力を高め、柔軟にして鋭いものの見方ができる女性を育成する。その結果自立した有能な人間として社会に貢献できる人材を送り出すことが目的である。
- (3) 文化総合学科は、人間の歴史や思想をふまえて、現代の社会と文化を地球規模で多面的に学び、今日の社会の諸問題に対して柔軟でバランスのとれた対応ができる人材の育成を目的とする。そのために、人文・社会科学に関わる学問分野を基礎から学び、専門分野を絞り込みながら、最終的に卒業研究(論文)を執筆することを課している。

2 ウェルビーイング学部は、生命及び人間の尊厳と個人の多様な生き方を尊重し、他者と共存しつつ自立した生活を送り、人間と社会及び自然の相互関係に対する洞察に基づいて、多様化・複雑化してゆく生活の諸課題に責任を持って対処し、国際関係を越えた地球的視野から生活の諸問題を実践的に対処することのできる女性を育てる。

- (1) 地域創生学科は、広く共生社会の実現に貢献するため、多様な価値観をもつ他者との協働的な取り組みを通して、日常生活の課題にしなやかに向き合い、行動し続ける女性の育成を目的とする。そのために、生活・福祉に関わる知識や技能、それらをつなげるプロジェクトを運営する実践力を養うことを目指す。
- (2) 食環境マネジメント学科は、人間生活(ヒューマン・ライフ)の視点から、人と人との関わりの中でとらえた食と栄養の教育・研究を目指している。そのために、入門から専門への段階を踏んだカリキュラムに従い教育・探究し、その過程で情報リテラシー、思考力・問題解決能力、コミュニケーション能力、専門能力を高め、柔軟にして科学的・客観的なものの見方ができる女性を育成する。その結果、健康・栄養情報をリアルタイムにとらえ、それを人のところに共感しながらやさしく伝えることで生活の質の向上と社会に貢献できる管理栄養士を送り出すことを目的としている。
- (3) 子ども教育学科では、人が人として成長していくための基礎を築き上げる時期である乳児期から児童期の子どもの成長や子どもにかかわる人びとを支えるために必要な学びを得ることができるカリキュラムを構成しており、地域社会に貢献できる幅広い視野を持ちながら、乳幼児期の子どもと就学後の子どもの教育を連続的に捉えることができる教育者の養成を目指している。4年間の学びを通して、子どもの発達連続性・子どもを取り巻く人びとや社会の状況・各関係機関との連携のあり方などを総合的に捉える思考力を身につけ、学生自らが人間的成長を遂げることができる教育によって、子どもに深くかかわる専門家や、さまざまな立場から子どもの周囲にいる人びとを支えることで社会に貢献する人材を送り出すことを目的としている。

(修業年限及び在学年限)

第5条 本学の修業年限を4年とする。ただし在学年数は8年を超えてはならない。

(収容定員)

第6条 第4条に定める各学部学科の入学定員及び収容定員並びに所在地は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員	所 在 地
文 学 部	英 語 文 化 学 科	80 名	320 名	札幌市北区北 16 条西 2 丁目 1 番 1 号
	日 本 語 ・ 日 本 文 学 科	80 名	320 名	
	文 化 総 合 学 科	80 名	320 名	
ウェルビーイング学部	地 域 創 生 学 科	50 名	200 名	石狩市花川南 4 条 5 丁目 7 番地
	食環境マネジメント学科	80 名	320 名	
	子ども教育学科	80 名	320 名	
人間生活学部	人 間 生 活 学 科	-	-	
	食 物 栄 養 学 科	-	-	
	子 ども 教 育 学 科	-	-	

第2章 学年、学期及び休業日

(学年)

第7条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第8条 学年を分けて、次の2期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第9条 休業日を、次のように定める。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に定める休日
- (3) 本学創立記念日(9月28日)
- (4) 夏季休業、8月1日から9月14日まで
- (5) 冬季休業、12月16日から翌年1月14日まで
- (6) 春季休業、3月21日から4月5日まで

2 休業日については、必要と認める場合に変更することがある。

第3章 授業科目及び単位

(授業科目)

第10条 文学部の授業科目は、大学共通科目、学科専門科目及び教職に関する科目とする。

2 文学部の授業科目とその単位数は、別表第1(1)、別表第1(2)①、別表第2、別表第3(1)から別表第3(3)及び別表第5(1)のとおりとする。

3 キリスト教学専修による卒業研究を可能にするために、文学部オープン科目を設ける。

第11条 ウェルビーイング学部の授業科目は、基盤教育科目、学科専門科目及び教職に関する科目とする。

2 ウェルビーイング学部の授業科目とその単位数は、別表第1(1)、別表第1(2)②、別表第4(1)

から別表第4(4)及び別表第5(2)のとおりとする。

第11条の2 図書館情報学課程の授業科目とその単位数は、別表第11のとおりとする。

2 文学部の日本語教員養成課程の授業科目とその単位数は、別表第12のとおりとする。

(卒業研究)

第12条 卒業研究の審査に関する規程は別に定める。

第13条 削除

第14条 削除

第15条 削除

(一年間の授業期間)

第16条 一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(単位の算定基準)

第17条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とし、科目によってその基準は異なる。

(2) 実験、実習、実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とし、科目によってその基準は異なる。

2 前項各号の規定にかかわらず、卒業研究の授業科目については、学修の成果を評価し所定の単位を授与する。

第4章 履修方法及び卒業の要件

(履修方法)

第18条 本学卒業の認定を受けるためには、学生は別表第6(1)から別表第7(4)に定める科目及び単位を履修しなければならない。

2 履修に関する規程は、別に定める。

(単位の授与)

第19条 前条による必要単位修得の認定は、各授業科目の成績及び履修時数によって行う。

2 前項の認定に必要な授業科目の成績は試験によって定める。ただし、レポートその他の成績をもってこれに代えることができる。

3 授業科目の成績の評価は、A+(100~91点)、A(90~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、F(59点以下)とし、A+、A、B及びCを合格とする。

4 第1項の単位認定に必要な授業科目の履修時数については、その授業時数の3分の2以上であることを原則とする。

5 試験に関する規程は、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第19条の2 本学が教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他の大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により、学生が修得した単位は、60単位を超えない範囲で本学において修得した単位と見なすことができる。

3 前2項の規定は、学生が海外留学協定校に留学する場合及び国内他大学との学生交流協定に基づき派遣される場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第19条の3 本学は、教育上有益と認める場合は、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修、海外単位認定指定校の語学センター等の学修を本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第19条の4 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項により修得したものとみなし、与えることができる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第19条の2第2項及び前条第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(遠隔授業)

第19条の5 本学が教育上有益と認めるときは、平成13年文部科学省告示第51号に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

2 前項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

(卒業の認定)

第20条 本学に4年以上在学し、第18条及び履修要項に定める授業科目及び単位を修得した者には、教授会の具申を経て卒業を認定する。

(学位の授与)

第21条 本学を卒業した者には、卒業証書を授与するとともに学士の学位を授与する。

2 本学において授与する、学士の学位に付記する専門分野の名称は、次のとおりとする。

文 学 部	英語文化学科	学士(文学)
	日本語・日本文学科	学士(文学)
	文化総合学科	学士(文学)
ウェルビーイング学部	地域創生学科	学士(人間生活学)
	食環境マネジメント学科	学士(食物栄養学)
	子ども教育学科	学士(教育学)

(教育職員免許状授与の所要資格の取得)

第22条 教育職員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法並びに同法施行規則の定めるところに従って、本学が定めた所定の科目について必要な単位を修得しなければならない。教育職員の免許状取得に関する履修要項は別に定める。

2 前項に規定する所定の単位を修得した者が取得できる教育職員の免許状の種類と免許教科の種類は、別表第8のとおりとする。

(保育士の資格の取得)

第22条の2 子ども教育学科の学生で保育士の資格を取得しようとする者は、児童福祉法並びに同法施行規則の定めるところに従って、本学が定めた所定の科目について、必要な単位を修得しなければならない。

2 前項の資格を取得しようとする者が第27条による転入学または編入学をした者である場合については文部科学大臣の認可した大学でかつ指定保育士養成施設である大学で修得した授業科目を、30単位を超えない範囲で当該教科目に相当する本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。また、指定保育士養成施設以外の大学で修得した授業科目の場合

は、本学で設定する教養科目、学校独自の科目に相当する授業科目について30単位を超えない範囲で修得したものとみなすことができる。

(司書又は司書教諭となる資格の取得)

第22条の3 司書となる資格又は司書教諭となる資格を取得しようとする者のため、図書館情報学課程を置く。

- 2 前項の資格を取得しようとする者は、別表第11の(1)又は(2)に定める科目及び単位を修得しなければならない。
- 3 図書館情報学課程に関する事項は、別に定める。

(日本語教員養成課程)

第22条の4 文学部に日本語教員養成課程を置く。

- 2 日本語教員養成課程を履修しようとする者は、別表第12に定める科目及び単位を修得しなければならない。
- 3 日本語教員養成課程に関する事項は、別に定める。

第22条の5 (削除)

(管理栄養士国家試験受験資格の取得)

第22条の6 食環境マネジメント学科の学生で管理栄養士国家試験受験資格を取得しようとする者は、栄養士法及び管理栄養士学校指定規則の定めるところに従って、本学が定めた所定の科目について、必要な単位を修得しなければならない。

- 2 前項に係る科目の履修方法については、別表第14のとおりとする。

第5章 入学、退学、休学、留学並びに転部、転科及び懲戒等

(入学の時期)

第23条 学生を入学させる時期は、毎学年の始めとする。

第24条 入学検定は、人物、学力及び身体について行う。

(入学資格)

第25条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する女性とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)
- (7) その他本学において、相当の年令に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第26条 入学を志願する者は、次の各号の書類に、別表第9に定める検定料を添えて所定の期日までに提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 出身学校調査書

(転入学、編入学)

第27条 次の各号の一に該当する者については、特別の選考により入学を許可することがある。

(1) 他の大学から本学に転入学を希望する者

(2) 他の大学に2年以上在学した者または短期大学を卒業した者で本学の3年次に編入学を希望する者

第28条 前条第1号または第2号により本学に入学を許可された者の、入学前に履修して修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)について、その一部または全部を本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 編入学及び転入学に関する規程は、別に定める。

(再入学)

第29条 本学を退学し、同一学科に再入学を希望する者がある場合は、特別の選考により再入学を許可することがある。

2 再入学に関する規程は、別に定める。

(転部、転科)

第29条の2 所属する学部の学科から他の学部の学科に転ずることを志願する者がいる場合は、選考の上当該教授会の具申を経て、転部を許可することがある。

2 所属する学部の学科から同一学部の他の学科に転ずることを志願する者がいる場合は、選考の上当該教授会の具申を経て、転科を許可することがある。

3 転部、転科に関する規程は、別に定める。

(入学手続)

第30条 入学を許可された者は、保証人連署の本学所定の誓約書に住民票記載事項証明書及び入学金その他所定の諸納付金を添えて、指定期日までに提出しなければならない。

(保証人)

第31条 保証人は、その学生の父母または独立の生計を営む成年者でなければならない。

第32条 保証人は、その学生の在学中、本人にかかるいっさいの事項につき、連帯の責任を負わなければならない。

第33条 保証人を不相当と認めた場合は、これを変更させることがある。

第34条 保証人が転籍、転居または改姓した場合は、その旨ただちに届け出なければならない。

第35条 保証人が死亡その他の事由でその責を尽くし得ない場合は、新たにその承継者を定めて届け出なければならない。

(退学)

第36条 やむを得ない事由により退学しようとする者は、その事由を詳記した保証人連署の退学願を提出して許可を受けなければならない。

(休学)

第37条 病気またはやむを得ない事由により2か月以上引きつづき出席できない者は、医師の診断書を添え、または詳細に事由を具して、保証人連署の休学願を提出し、許可を得て休学することができる。休学期間は4年以内とし、第5条の在学期間に算入しない。

(復学)

第38条 病気その他の事由により休学中の者で、その事由が消滅して復学しようとする場合には、医師の診断書またはその理由書を添え、保証人連署の復学願を提出して許可を受けなければならない。

(留学)

第38条の2 本学との間に協定を結んでいる外国及び国内の大学で授業科目の履修を希望する者

がある場合は審査の上、それを許可することがある。

- 2 前項の留学の期間は1年以内とし、在学年数に通算する。
- 3 第19条の2の規定は、留学する場合に準用する。
- 4 留学に関する規程は、別に定める。

(除籍及び復籍)

第38条の3 次の各号のいずれかに該当する場合は、教授会の具申を経て除籍とする。

- (1) 第5条に定める在学年限を超えた者
 - (2) 第37条に規定する休学期間を超えなお修学できない者
 - (3) 正当の事由なくして授業料その他の納付金を、所定の期間に納入しない者
 - (4) 行方不明の者
- 2 前項第3号により除籍となった者が復籍を願い出たときは、当該教授会の具申を経て、学長がこれを許可することがある。
 - 3 復籍に関する規程は、別に定める。

(懲戒)

第39条 学則に違背し、あるいは学生の本分に反する行為のあった者は、懲戒処分とする。

第40条 懲戒は、譴責、停学及び退学の三種とし、次の各号の一に該当する者には、教授会の具申を経て学長が退学を命ずることがある。

- (1) 性行不良にして改しゅんの見込がない者
 - (2) 学業劣等にして成業の見込がない者
 - (3) 正当の事由なくして出席常でない者
 - (4) 学内の秩序を乱し、学生の本分に反する者
- 2 懲戒に関する取り扱いは、別に定める。

第6章 学 費

(授業料等)

第41条 学生は、別表第10に定める授業料その他の納付金を所定の期日に納入しなければならない。

(授業料等の免除)

第42条 学生の生活の実情と成績により、入学後の学費の全部または一部を免除し、または貸与することがある。

(実験実習費等)

第43条 実験、実習費等については、その実費を徴収する。

(休学・卒業延期者の授業料等)

第44条 休学期間中の授業料は徴収しない。ただし学期の中途において休学もしくは復学した者は、その全期間の授業料を徴収する。

- 2 卒業延期者の授業料その他の納付金は別に定める。

(授業料等の不返還)

第45条 いったん納入した授業料その他の納付金は、いっさい返還しない。

第46条 削除

第7章 職員組織

(職員組織)

第47条 本学に、学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員を置く。

第47条の2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどることができる。

第48条 学長及び副学長は学校法人藤天使学園の理事長が任免する。

第49条 教授、准教授、講師、助教及び助手は学長の上申に基づいて、学校法人藤天使学園の理事長が任免する。

第50条 本学の学部には学部長、学科に学科主任、教務部、学生部、入試部に部長及び図書館に図書館長を置く。

第51条 学部長、学科主任、教務部長、学生部長、入試部長及び図書館長は、学長が任免する。

第52条 本学に、顧問を置くことができる。

第8章 評議会及び教授会

(評議会)

第53条 本学に、評議会を置く。

2 評議会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 各学部長、研究科長
- (4) 教務部長、学生部長、入試部長、図書館長
- (5) 各学科主任、各専攻主任
- (6) 各学部教授会から推薦を受けた各3名の教授
- (7) 事務局長

3 評議会は、学長が次に掲げる事項について決定を行なうに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 文学部、ウェルビーイング学部及び人間生活学研究科間の連絡調整に関する事項
- (2) 教務部長、学生部長、入試部長、図書館長の選考に関する事項
- (3) 入学試験に関する事項
- (4) 自己点検・評価に関する事項
- (5) その他、大学の教育研究に関する重要な事項で、評議会の意見を聞くことが必要なものとして学長が定めるもの。

第54条 評議会の運営に関する事項は別に定める。

(教授会)

第55条 本学の学部には教授会を置く。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行なうに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業
- (2) 学位の授与
- (3) 前各号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聞くことが必要なものとして学長が定めるもの。

3 教授会は前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

第56条 教授会の組織及び運営に関する事項は、別に定める。

第57条 削除

第9章 委託学生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、 交換留学生、交流学生及び外国人留学生

(委託学生)

- 第58条 官公庁、法人または外国政府から教育を委託された者を委託学生とする。
2 委託学生に関する事項については別に定める。

(科目等履修生)

- 第59条 本学の授業科目のうち、1または複数の授業科目を履修する者を科目等履修生とする。
2 科目等履修生として履修を希望する者のある場合は、学生の履修に支障のない限り選考の上許可することができる。
3 科目等履修生には、試験の上合格者には、単位を与えるものとする。
4 科目等履修生に関する規程は、別に定める。
5 法令等により特別に開設した授業科目を受講する者も科目等履修生として前2項及び3項を適用することとし、当該科目の運営等については別に定める。

(聴講生)

- 第60条 本学の授業科目のうち、1または複数の授業科目を聴講する者を聴講生とする。
2 聴講生として聴講を希望する者のある場合は、学生の履修に支障のない限り選考の上許可することができる。
3 聴講生に関する規程は、別に定める。

(特別聴講学生)

- 第60条の2 他の大学又は短期大学の学生で、本学において特定の授業科目を履修することを希望する者がある場合は、当該他大学との協議に基づき、特別聴講学生として履修を許可することができる。
2 特別聴講学生に関する規程は、別に定める。

(交換留学生)

- 第61条 本学との交換留学協定に基づき、外国の大学から派遣された学生を交換留学生とする。
2 交換留学生に関する規程は別に定める。

(交流学生)

- 第61条の2 本学と国内の他大学との学生交流協定に基づき、当該他大学から派遣された学生を交流学生とする。
2 交流学生に関する規程は別に定める。
第62条 委託学生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、交換留学生、交流学生及び外国人留学生には、本学学生に関する諸規程を準用する。

(外国人留学生)

- 第63条 外国人にして入学を希望する者がある場合は、選考の上許可することができる。
2 前項に係わる外国人留学生に関する規程は、別に定める。

第10章 図書館

(図書館)

- 第64条 本学に図書館を設ける。
第65条 図書館に関する細則は別に定める。

附 則

本学則は、昭和36年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和38年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成3年10月16日から施行する。

附 則

1 本学則は、平成4年4月1日から施行する。

2 第6条の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの間の文学部の入学定員は、次の表の通りとする。

学 部	学 科	入学定員
文 学 部	英 文 学 科	80名

	国文学科	80名
--	------	-----

3 第6条の規定にかかわらず、平成4年度から平成6年度までの間の人間生活学部の収容定員は、次の表の通りとする。

年度	学部 学科	人間生活学部	
		人間生活学科	食物栄養学科
平成4年度		80名	50名
平成5年度		160名	100名
平成6年度		240名	150名

附 則

本学則は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 平成8年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 平成9年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

学部 科目	文学部		人間生活学部	
	英文学科	国文学科	人間生活学科	食物栄養学科
一般教育科目	人文、社会及び自然の3分野にわたり、それぞれ2科目以上8単位以上 合計36単位以上		人文、社会及び自然の3分野の選択科目の中から、それぞれ2科目以上8単位以上、必修科目を含め合計38単位以上	
外国語科目	独語・仏語のうち1外国語 8単位以上	英語・独語・仏語のうち1外国語 8単位以上		
保健体育科目	講義及び実技各2単位計4単位			
専門教育科目	76単位以上		86単位以上	
合計	124単位以上		136単位以上	

附 則

本学則は、平成9年12月3日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 平成10年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 平成10年3月31日に在学する者に係る保証人については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 第6条の規定にかかわらず、平成12年度から平成14年度までの間の文学部文化総合学科、人間生活学部食物栄養学科及び保育学科の収容定員は、次の表のとおりとする。

年度	学部 学科	人間生活学部		
		文学部 文化総合学科	食物栄養学科	保育学科
平成12年度		80名	230名	160名
平成13年度		160名	260名	320名
平成14年度		240名	290名	320名

- 3 平成12年3月31日に文学部英文学科、国文学科及び人間生活学部人間生活学科、食物栄養学科に在学する者にかかわる授業科目及び単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

本学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成13年8月1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 平成14年3月31日に人間生活学部人間生活学科、食物栄養学科、保育学科に在学する者にかかわる授業科目及び単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

本学則は、平成14年12月7日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 2004年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2005年4月1日から施行する。
- 2 2005年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 別表第5の2に掲げる科目及び別表第6の教職に関する科目のうち、栄養教諭免許状を取得するための科目は2004年度入学生から適用する。ただし、2004年度入学生については卒業要件には含まれない。

附 則

- 1 本学則は、2006年4月1日から施行する。
- 2 2006年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

本学則は、2007年1月1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、2007年4月1日から施行する。
- 2 2007年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2008年4月1日から施行する。
- 2 2008年3月31日に在学する者にかかわる別表第7及び別表第8を除く別表は、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 2008年3月31日に人間生活学部食物栄養学科に在学する者にかかわる別表第8の2の表中、必修単位及び選択単位については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2009年4月1日から施行する。
- 2 2009年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 別表第5の2に掲げる科目のうち、フードスペシャリスト受験資格取得にかかわる「食品流通経済論」、「フードコーディネイト論」及び「フードスペシャリスト論」は、2008年度以前に人間生活学部食物栄養学科に在学する者にも適用する。ただし、2008年度以前入学生については卒業要件には含まれない。

附 則

- 1 本学則は、2010年4月1日から施行する。
- 2 2010年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2011年4月1日から施行する。
- 2 2011年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2012年4月1日から施行する。
- 2 2012年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 2013年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 別表第3に掲げる科目のうち、「教職実践演習(中・高)」は、2009年度以前に入学し文学部に在学する者の履修を認める。ただし、卒業要件には含まれない。
- 4 別表第6に掲げる科目のうち、「教職実践演習(中・高)」は、2009年度以前に入学し人間生活学部人間生活学科に在学する者、「教職実践演習(栄養教諭)」は、2009年度以前に入学し人間生活学部食物栄養学科に在学する者の履修を認める。ただし、卒業要件には含まれない。

附 則

- 1 本学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 2014年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2015年4月1日から施行する。
- 2 2015年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 2016年3月31日に在学する者にかかわる授業科目、成績評価及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 2017年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2018年4月1日から施行する。
- 2 2018年3月31日に在学する者の学部、学科の目的、授業科目及び履修単位数は、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2019年4月1日から施行する。
- 2 2019年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 別表第5（1）及び（2）に掲げる科目のうち、「英語科教育法Ⅲ・Ⅳ」「国語科教育法Ⅱ・Ⅲ」「特別支援教育論」「特別活動・総合的な学習の時間の指導法」「北海道の教育」は、2019年度及び2020年度に3年次編入学した者の履修を認める。ただし、卒業要件には含まれない。

附 則

- 1 本学則は、2020年4月1日から施行する。
- 2 2020年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 保育学科及び子ども教育学科の収容定員は第6条の規定にかかわらず、2020年度から2023年度までは次のとおり定める。保育学科は2020年度から募集を停止し、学生が在籍しなくなるのをまって廃止する。

年度	学部	人間生活学部	
	学科	保育学科	子ども教育学科
2020年度		240名	80名
2021年度		160名	160名
2022年度		80名	240名
2023年度		—	320名

- 4 2020年3月31日に在学する保育学科の学生については、改正後の規定にかかわらず、学生が

在籍しなくなる日までの間、なお従前の例による。

5 第19条の5第1項及び第2項は2020年4月1日に在籍する学生から適用する。

附 則

- 1 本学則は、2021年4月1日から施行する。
- 2 2021年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2022年4月1日から施行する。
- 2 英語文化学科、日本語・日本文学科、文化総合学科及び人間生活学科の収容定員は第6条の規定にかかわらず、2022年度から2024年度までは次のとおり定める。

年度	文学部			人間生活学部
	英語文化学科	日本語・日本文学科	文化総合学科	人間生活学科
2022年度	330名	330名	330名	290名
2023年度	340名	340名	340名	260名
2024年度	350名	350名	350名	230名

- 3 2022年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 別表第5(1)及び(2)に掲げる科目のうち、「教育現場でのICT活用」は、2022年度及び2023年度に3年次編入学した者の履修を認める。ただし卒業要件には含まれない。

附 則

- 1 本学則は、2023年4月1日から施行する。
- 2 2023年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2024年4月1日から施行する。
- 2 2024年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、2025年4月1日から施行する。
- 2 2025年3月31日に在学する者にかかわる授業科目及び履修単位数については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 英語文化学科、日本語・日本文学科及び文化総合学科の収容定員は第6条の規定にかかわらず、2025年度から2027年度までは次のとおり定める。

年度	文学部		
	英語文化学科	日本語・日本文学科	文化総合学科
2025年度	350名	350名	350名
2026年度	340名	340名	340名
2027年度	330名	330名	330名

別表第1-1 大学共通科目
(1)教養科目

区分	授 業 科 目	開設 単位数	必修 単位数	選択 単位数	備 考
人間と宗教	キリスト教概論	2	2		} 6科目の中から 1科目以上 選択必修
	キリスト教と藤女子大学	2		2	
	キリスト教人間学 A	2		2	
	キリスト教人間学 B	2		2	
	聖書概論 A	2		2	
	聖書概論 B	2		2	
	宗教と文化	2		2	
キャリア形成 ジェンダー・	女性とキャリア I	1	1		文学部学生のみ対象
	女性とキャリア II	1		1	
	女性と労働	2		2	
	女性と法律	2		2	
	ジェンダー論	2		2	
国際理解	文化人類学	2		2	
	異文化コミュニケーション	2		2	
	国際関係論	2		2	
	国際理解教育	2		2	
社会と文化	経済学	2		2	
	社会学	2		2	
	日本国憲法	2		2	
	心理学	2		2	
	音楽	2		2	
	美術論	2		2	
	日本語文学	2		2	
	英語圏文学	2		2	
	アジア圏文学	2		2	
	言語学	2		2	
子ども学	2		2		
歴史・思想	西洋史	2		2	
	日本史 A	2		2	
	日本史 B	2		2	
	東洋史	2		2	
	哲学	2		2	
倫理学	2		2		
自然・科学	環境科学	2		2	
	自然と化学	2		2	
	生命科学	2		2	
	数学	2		2	
	物理学	2		2	
健康	ライフステージ栄養学	2		2	
	健康の科学	2		2	
	運動の科学	2		2	
	運動の実践 A	1		1	
	運動の実践 B	1		1	

リテラシー	文章表現	2		2	
	統計学	2		2	
	情報処理の基礎	1		1	
	データサイエンス基礎Ⅰ	2		2	
	データサイエンス基礎Ⅱ	2		2	
計		91	3	88	

<第10・11条関係>

(2)外国語科目

①文学部開講科目

区分	授業科目	開設 単位数	必修 単位数	選択 単位数	備考	
英語	基礎・アカデミック関連科目群	Academic Communication I	1		1	日本語・日本文学科、文化総合学科
		Academic Communication II	1		1	
		Essential Vocabulary & Grammar	1		1	
		Interactive English A	1		1	
		Interactive English B	1		1	
		Academic Reading I	1		1	
		Academic Reading II	1		1	
		Academic Listening & Note-taking	1		1	
		Academic Speaking & Discussion	1		1	
		Academic Vocabulary Development I	1		1	
		Academic Vocabulary Development II	1		1	
		Grammar for Communication I	1		1	
	Pronunciation for Communication	1		1		
	応用・留学関連科目群	Academic Skills & Strategies	1		1	
		CLIL English A	1		1	
		CLIL English B	1		1	
		CLIL English C	1		1	
		CLIL English D	1		1	
		Skills for the TOEFL I	1		1	
		Skills for the TOEFL II	1		1	
		Skills for IELTS I	1		1	
		Skills for IELTS II	1		1	
		留学事前セミナー	1		1	
	留学事後セミナー	1		1		
	実践・キャリア関連科目群	Practical English A	1		1	
		Practical English B	1		1	
		Practical English C	1		1	
		Practical English D	1		1	
		TOEIC Starter A	1		1	
		TOEIC Starter B	1		1	
		TOEIC Intermediate A	1		1	
		TOEIC Intermediate B	1		1	
		TOEIC Advanced A	1		1	
TOEIC Advanced B		1		1		
English for Global Communication A		1		1		

	English for Global Communication B	1		1	
	English for Global Communication C	1		1	
	English for Global Communication D	1		1	
	Writing for Career Success	1		1	
ドイツ語	初級ドイツ語 A I	1		1	
	初級ドイツ語 A II	1		1	
	初級ドイツ語 B I	1		1	
	初級ドイツ語 B II	1		1	
	中級ドイツ語 A I	1		1	
	中級ドイツ語 A II	1		1	
	中級ドイツ語 B I	1		1	
	中級ドイツ語 B II	1		1	
	上級ドイツ語 I	1		1	
	上級ドイツ語 II	1		1	
フランス語	初級フランス語 A I	1		1	
	初級フランス語 A II	1		1	
	初級フランス語 B I	1		1	
	初級フランス語 B II	1		1	
	中級フランス語 A I	1		1	
	中級フランス語 A II	1		1	
	中級フランス語 B I	1		1	
	中級フランス語 B II	1		1	
	上級フランス語 I	1		1	
	上級フランス語 II	1		1	
中国語	初級中国語 A I	1		1	
	初級中国語 A II	1		1	
	初級中国語 B I	1		1	
	初級中国語 B II	1		1	
	中級中国語 A I	1		1	
	中級中国語 A II	1		1	
	中級中国語 B I	1		1	
	中級中国語 B II	1		1	
	上級中国語 I	1		1	
	上級中国語 II	1		1	
	中国語実践演習 A	2		2	
	中国語実践演習 B	2		2	
	中国語文献読解演習 A	2		2	
	中国語文献読解演習 B	2		2	
韓国語	初級韓国語 A I	1		1	
	初級韓国語 A II	1		1	
	初級韓国語 B I	1		1	
	初級韓国語 B II	1		1	
	中級韓国語 A I	1		1	
	中級韓国語 A II	1		1	
	中級韓国語 B I	1		1	
	中級韓国語 B II	1		1	
	上級韓国語 I	1		1	

	上級韓国語Ⅱ	1		1	
	韓国語実践演習 A	2		2	
	韓国語実践演習 B	2		2	
	韓国語文献読解演習 A	2		2	
	韓国語文献読解演習 B	2		2	
海外語学研修	海外語学研修 A	2		2	
	海外語学研修 B	2		2	
	海外語学研修 C	2		2	
	海外語学研修 D	1		1	
	海外語学研修 E	1		1	
	海外語学研修 F	1		1	
オンライン語学研修	オンライン語学研修 A	2		2	
	オンライン語学研修 B	2		2	
	オンライン語学研修 C	1		1	
	オンライン語学研修 D	1		1	
	オンライン語学研修 E	1		1	
	オンライン語学研修 F	1		1	
日本語科目 留学生	日本語(口頭表現Ⅰ)	2		2	留学生対象
	日本語(口頭表現Ⅱ)	2		2	
	日本語(読解)	1		1	
	日本語(文章表現Ⅰ)	1		1	
	日本語(文章表現Ⅱ)	1		1	
	日本語(総合 A)	1		1	
	日本語(総合 B)	1		1	
計		121		121	

< 第10条関係 >

別表第1-2 基盤教育科目

区分		授 業 科 目	開設 単位数	必修 単位数	選択 単位数	備 考
① 建学の理念科目	キリスト教科目	キリスト教概論	2	2		} 6科目の中から 1科目以上 選択必修
		キリスト教と藤女子大学	2		2	
		キリスト教人間学 A	2		2	
		キリスト教人間学 B	2		2	
		聖書概論 A	2		2	
		聖書概論 B	2		2	
		宗教と文化	2		2	
② スタートアップセミナー	スタートアップセミナー	1	1			
③ 教養実践科目	キャリア形成	キャリアデザインI	1	1		
	ス・A・I教育	データサイエンス基礎I	2	2		
		データサイエンス基礎 II	2		2	
		データ分析演習	2		2	
		プログラミング演習	2		2	
		情報処理の基礎	1		1	
		数学	2		2	
		統計学	2		2	
	身体と科学	運動の実践A	1		1	
		運動の実践B	1		1	
運動の科学		2		2		
④ 教養コア科目	日本国憲法	2		2	} 4単位以上選択必修	
	経済学	2		2		
	社会学	2		2		
	心理学	2		2		
	音楽	2		2		
	美術論	2		2		
	環境科学	2		2		
	生命科学	2		2		
	健康の科学	2		2		
	ジェンダー論	2		2		
	文学	2		2		
	異文化コミュニケーション	2		2		
	国際関係論	2		2		
⑤ 藤プロジェクト	プロジェクト入門	2		2		
	プロジェクト実践	2		2		
⑥ 外国語科目	Academic Communication I	1	1			
	Academic Communication II	1	1			
	Essential Vocabulary & Grammar	1		1		
	Interactive English A	1		1		
	Interactive English B	1		1		
	Practical English A	1		1		

Practical English B	1	1
Academic listening & Note-taking	1	1
Academic Speaking & Discussion	1	1
Academic Reading I	1	1
Academic Reading II	1	1
Skills for the TOEFL I	1	1
Skills for the TOEFL II	1	1
English for Global Communication	1	1
CLIL English	1	1
初級ドイツ語 I	1	1
初級ドイツ語 II	1	1
中級ドイツ語 I	1	1
中級ドイツ語 II	1	1
上級ドイツ語 I	1	1
上級ドイツ語 II	1	1
初級フランス語 I	1	1
初級フランス語 II	1	1
中級フランス語 I	1	1
中級フランス語 II	1	1
上級フランス語 I	1	1
上級フランス語 II	1	1
初級中国語 I	1	1
初級中国語 II	1	1
中級中国語 I	1	1
中級中国語 II	1	1
上級中国語 I	1	1
上級中国語 II	1	1
中国語実践演習 A	2	2
中国語実践演習 B	2	2
初級韓国語 I	1	1
初級韓国語 II	1	1
中級韓国語 I	1	1
中級韓国語 II	1	1
上級韓国語 I	1	1
上級韓国語 II	1	1
韓国語実践演習 A	2	2
韓国語実践演習 B	2	2
海外語学研修 A	2	2
海外語学研修 B	2	2
海外語学研修 C	2	2
海外語学研修 D	1	1
海外語学研修 E	1	1
海外語学研修 F	1	1
オンライン語学研修 A	2	2
オンライン語学研修 B	2	2

	オンライン語学研修 C	1		1	
	オンライン語学研修 D	1		1	
	オンライン語学研修 E	1		1	
	オンライン語学研修 F	1		1	
	計	127	8	119	

<第11条関係>

別表第2 文学部オープン科目

専修	区分	授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数
キリスト 教学専修	講義 科目	キリスト教学特殊講義 a	2		2
		キリスト教学特殊講義 b	2		2
		キリスト教学特殊講義 c	2		2
		キリスト教学特殊講義 d	2		2
	演習 科目	キリスト教学演習 a	2		2
		キリスト教学演習 b	2		2
		キリスト教学演習 c	2		2
		キリスト教学演習 d	2		2
	卒業 研究 関連 科目	卒業研究演習	4		4
		卒業研究	4		4
	計	24		24	

<第10条関係>

別表第3 文学部 学科専門科目

(1) 英語文化学科

専修	区分	授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数
共通	学科基礎科目	Grammar I	0.5	0.5	
		Grammar II	0.5	0.5	
		Grammar III	0.5	0.5	
		Grammar IV	0.5	0.5	
		Writing I	0.5	0.5	
		Writing II	0.5	0.5	
		The Art of Writing I	1	1	
		The Art of Writing II	1	1	
		Oral English I a	1	1	
		Oral English I b	1	1	
		Oral English II a	1	1	
		Oral English II b	1	1	
		Oral English III	1	1	
		Oral English IV	1	1	
		Reading I	1	1	
		Reading II	1	1	
		Reading III	1	1	
		Reading IV	1	1	
		Voice & Articulation I	0.5	0.5	
		Voice & Articulation II	0.5	0.5	
Vocabulary Building I	0.5	0.5			
Vocabulary Building II	0.5	0.5			
Strategies for Listening I	0.5	0.5			
Strategies for Listening II	0.5	0.5			
文学・文化専修		文学・文化講読 A-a	1		1
		文学・文化講読 A-b	1		1
		文学・文化講読 B-a	1		1
		文学・文化講読 B-b	1		1
		文学・文化講読 C-a	1		1
		文学・文化講読 C-b	1		1
		文学・文化講読 D-a	1		1
		文学・文化講読 D-b	1		1
言語・コミュニケーション専修	専門講読科目	言語・コミュニケーション講読 A-a	1		1
		言語・コミュニケーション講読 A-b	1		1
		言語・コミュニケーション講読 B-a	1		1
		言語・コミュニケーション講読 B-b	1		1
		言語・コミュニケーション講読 C-a	1		1
		言語・コミュニケーション講読 C-b	1		1
		言語・コミュニケーション講読 D-a	1		1
		言語・コミュニケーション講読 D-b	1		1
共通		時事英語講読 a	1		1
		時事英語講読 b	1		1
		Advanced Reading A	1		1
		Advanced Reading B	1		1

		Advanced Reading C	1		1
		Advanced Reading D	1		1
文学・文化専修	基礎演習科目	文学・文化基礎演習 A	2		2
		文学・文化基礎演習 B	2		2
		文学・文化基礎演習 C	2		2
		文学・文化基礎演習 D	2		2
		文学・文化基礎演習 E	2		2
言語・コミュニケーション専修		言語・コミュニケーション基礎演習 A	2		2
		言語・コミュニケーション基礎演習 B	2		2
		言語・コミュニケーション基礎演習 C	2		2
		言語・コミュニケーション基礎演習 D	2		2
		言語・コミュニケーション基礎演習 E	2		2
文学・文化専修	英文学史 a	2		2	
	英文学史 b	2		2	
	米文学史 a	2		2	
	米文学史 b	2		2	
	英語圏文学研究 a	2		2	
	英語圏文学研究 b	2		2	
	英語圏文学概論 a	2		2	
	英語圏文学概論 b	2		2	
	英語圏文学講義 A	2		2	
	英語圏文学講義 B	2		2	
	英語圏文学講義 C	2		2	
	英語圏文化概論 a	2		2	
	英語圏文化概論 b	2		2	
	英語圏文化研究 a	2		2	
	英語圏文化研究 b	2		2	
	英語圏文化講義 A	2		2	
	英語圏文化講義 B	2		2	
英語圏文化講義 C	2		2		
言語・コミュニケーション専修	講義科目	英語学概論 a	2		2
		英語学概論 b	2		2
		言語学概論 a	2		2
		言語学概論 b	2		2
		英語史 a	2		2
		英語史 b	2		2
		英語学研究 a	2		2
		英語学研究 b	2		2
		コミュニケーション概論 a	2		2
		コミュニケーション概論 b	2		2
		コミュニケーション研究 a	2		2
		コミュニケーション研究 b	2		2
		英語学講義 A	2		2
		英語学講義 B	2		2
		言語学講義 A	2		2
		言語学講義 B	2		2
				国際教養講義 A	2

共通		国際教養講義 B	2		2	
		国際教養講義 C	2		2	
		国際教養講義 D	2		2	
		国際教養講義 E	2		2	
		国際教養講義 F	2		2	
		特殊講義 a	2		2	
		特殊講義 b	2		2	
		特殊講義 c	2		2	
		実践英語科目	翻訳・通訳	翻訳ワークショップ A-a	1	
	翻訳ワークショップ A-b			1		1
	翻訳ワークショップ B-a			1		1
	翻訳ワークショップ B-b			1		1
	通訳ワークショップ A-a			1		1
	通訳ワークショップ A-b			1		1
	通訳ワークショップ B-a			1		1
	通訳ワークショップ B-b			1		1
	児童英語		児童英語 a	1		1
			児童英語 b	1		1
			児童英語活動 I	1		1
			児童英語活動 II	1		1
			児童英語演習 a	1		1
			児童英語演習 b	1		1
	イングリッシュ・スキルズ		English Discussion & Presentation a	1		1
			English Discussion & Presentation b	1		1
			English Discussion & Presentation c	1		1
			English Discussion & Presentation d	1		1
			English Discussion & Presentation e	1		1
			English Discussion & Presentation f	1		1
English Discussion & Presentation g			1		1	
English Discussion & Presentation h			1		1	
English Discussion & Presentation i			1		1	
English Discussion & Presentation j			1		1	
English Discussion & Presentation k			1		1	
English Discussion & Presentation l			1		1	
文学・文化専修	演習科目		文学・文化演習 A-a	2		2
		文学・文化演習 A-b	2		2	
		文学・文化演習 A-c	2		2	
		文学・文化演習 A-d	2		2	
		文学・文化演習 B-a	2		2	
		文学・文化演習 B-b	2		2	
		文学・文化演習 B-c	2		2	
		文学・文化演習 B-d	2		2	
		文学・文化演習 C-a	2		2	
		文学・文化演習 C-b	2		2	
		文学・文化演習 C-c	2		2	
		文学・文化演習 C-d	2		2	
		文学・文化演習 D-a	2		2	

	文学・文化演習 D-b	2		2
	文学・文化演習 D-c	2		2
	文学・文化演習 D-d	2		2
	文学・文化演習 E-a	2		2
	文学・文化演習 E-b	2		2
	文学・文化演習 E-c	2		2
	文学・文化演習 E-d	2		2
言語・コミュニケーション専修	言語・コミュニケーション演習 A-a	2		2
	言語・コミュニケーション演習 A-b	2		2
	言語・コミュニケーション演習 A-c	2		2
	言語・コミュニケーション演習 A-d	2		2
	言語・コミュニケーション演習 B-a	2		2
	言語・コミュニケーション演習 B-b	2		2
	言語・コミュニケーション演習 B-c	2		2
	言語・コミュニケーション演習 B-d	2		2
	言語・コミュニケーション演習 C-a	2		2
	言語・コミュニケーション演習 C-b	2		2
	言語・コミュニケーション演習 C-c	2		2
	言語・コミュニケーション演習 C-d	2		2
	言語・コミュニケーション演習 D-a	2		2
	言語・コミュニケーション演習 D-b	2		2
	言語・コミュニケーション演習 D-c	2		2
	言語・コミュニケーション演習 D-d	2		2
	言語・コミュニケーション演習 E-a	2		2
	言語・コミュニケーション演習 E-b	2		2
言語・コミュニケーション演習 E-c	2		2	
言語・コミュニケーション演習 E-d	2		2	
卒業研究 関連科目	Academic Writing I	1	1	
	Academic Writing II	1	1	
	Advanced Writing a	1		1
	Advanced Writing b	1		1
	卒業研究演習	4	4	
	卒業研究	4	4	
	計	264	28	236

< 第10条関係 >

(2) 日本語・日本文学科

専修	区分	授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数
共通	基礎講義科目Ⅰ	日本語学 A-a	2		2
		日本語学 A-b	2		2
		日本語学 B	2		2
		日本語学 C	2		2
		古典文学 A	2		2
		古典文学 B	2		2
		古典文学 C	2		2
		近現代文学 A	2		2
		近現代文学 B	2		2
		近現代文学 C	2		2
		日本文化 A	2		2
		日本文化 B	2		2
		日本文化 C	2		2
		日本文化 D	2		2
		日本文化 E	2		2
		漢文学 a	2		2
		漢文学 b	2		2
	基礎講義科目Ⅱ	日本語表現法 A-a	2		2
		日本語表現法 A-b	2		2
		日本語表現法 B-a	2		2
		日本語表現法 B-b	2		2
日本語学概論 a		2		2	
日本語学概論 b		2		2	
日本文学概論 a		2		2	
日本文学概論 b		2		2	
古文読解	2		2		
日本語・日本文学専修	講義科目	日本語学研究 A-a	2		2
		日本語学研究 A-b	2		2
		日本語学研究 B-a	2		2
		日本語学研究 B-b	2		2
		日本語学研究 C-a	2		2
		日本語学研究 C-b	2		2
		日本語学研究 D-a	2		2
		日本語学研究 D-b	2		2
		日本語学研究 E-a	2		2
		日本語学研究 E-b	2		2
		古典文学研究 A-a	2		2
		古典文学研究 A-b	2		2
		古典文学研究 B-a	2		2
		古典文学研究 B-b	2		2
		古典文学研究 C-a	2		2
		古典文学研究 C-b	2		2
		古典文学研究 D-a	2		2
		古典文学研究 D-b	2		2
		古典文学研究 E-a	2		2

		古典文学研究 E-b	2		2
		近現代文学研究 A-a	2		2
		近現代文学研究 A-b	2		2
		近現代文学研究 B-a	2		2
		近現代文学研究 B-b	2		2
		近現代文学研究 C-a	2		2
		近現代文学研究 C-b	2		2
		近現代文学研究 D-a	2		2
		近現代文学研究 D-b	2		2
日本文化専修		日本思想史 I	2		2
		日本思想史 II	2		2
		日本文化論 A-a	2		2
		日本文化論 A-b	2		2
		日本文化論 B-a	2		2
		日本文化論 B-b	2		2
		日本文化論 C-a	2		2
		日本文化論 C-b	2		2
		日本文化論 D-a	2		2
		日本文化論 D-b	2		2
		日本文化論 E-a	2		2
		日本文化論 E-b	2		2
		日本文化論 F-a	2		2
		日本文化論 F-b	2		2
		日本文化とアジア A-a	2		2
		日本文化とアジア A-b	2		2
		日本文化とアジア B-a	2		2
		日本文化とアジア B-b	2		2
		日本文化とアジア C-a	2		2
		日本文化とアジア C-b	2		2
		日本文化とアジア D-a	2		2
日本文化とアジア D-b	2		2		
日本文化と女性 A	2		2		
日本文化と女性 B	2		2		
共通		特殊講義 a	2		2
		特殊講義 b	2		2
		特殊講義 c	2		2
日本文化専修	書道科目	書道 I	2		2
		書道 II	2		2
		書道 III	2		2
		書道 IV	2		2
		書道史 a	2		2
		書道史 b	2		2
		書論・鑑賞 a	2		2
		書論・鑑賞 b	2		2
		日本語学演習 I A	4		4
		日本語学演習 I B	4		4
		古典文学演習 I A	4		4

共通	演習科目	古典文学演習 I B	4		4
		古典文学演習 I C	4		4
		近現代文学演習 I A	4		4
		近現代文学演習 I B	4		4
		日本文化論演習 I A	4		4
		日本文化論演習 I B	4		4
		日本文化論演習 I C	4		4
日本語・日本文学専修		日本語学演習 II A-a	4		4
		日本語学演習 II A-b	4		4
		日本語学演習 II B-a	4		4
		日本語学演習 II B-b	4		4
		古典文学演習 II A-a	4		4
		古典文学演習 II A-b	4		4
		古典文学演習 II B-a	4		4
		古典文学演習 II B-b	4		4
		古典文学演習 II C-a	4		4
		古典文学演習 II C-b	4		4
		近現代文学演習 II A-a	4		4
		近現代文学演習 II A-b	4		4
		近現代文学演習 II B-a	4		4
		近現代文学演習 II B-b	4		4
日本文化専修		日本文化論演習 II A-a	4		4
		日本文化論演習 II A-b	4		4
		日本文化論演習 II B-a	4		4
		日本文化論演習 II B-b	4		4
		日本文化論演習 II C-a	4		4
		日本文化論演習 II C-b	4		4
共通	関連科目	卒業研究ゼミ I	4		4
		卒業研究ゼミ II	4	4	
		卒業研究	4	4	
計			310	8	302

<第10条関係>

(3) 文化総合学科

専修	区分	授 業 科 目	開設単位数	必修単位数	選択単位数
現代社会専修	文化総合学科基礎演習	「現代社会」基礎演習 A	2		2
		「現代社会」基礎演習 B	2		2
		「現代社会」基礎演習 C	2		2
		「現代社会」基礎演習 D	2		2
		「現代社会」基礎演習 E	2		2
歴史・思想専修		「歴史・思想」基礎演習 A	2		2
		「歴史・思想」基礎演習 B	2		2
		「歴史・思想」基礎演習 C	2		2
		「歴史・思想」基礎演習 D	2		2
		「歴史・思想」基礎演習 E	2		2
現代社会専修	講義科目	文化人類学入門	2		2
		異文化コミュニケーション論入門	2		2
		政治学(国際政治学)入門	2		2
		国際関係論入門	2		2
		基礎法学 A(憲法)	2		2
		基礎法学 B-a(民法)	2		2
		基礎法学 B-b(民法)	2		2
		基礎法学 C-a(国際関係法)	2		2
		基礎法学 C-b(国際関係法)	2		2
		経済学入門(国際経済学を含む)	2		2
		社会学入門	2		2
		心理学入門	2		2
		統計学入門(確率論を含む)	2		2
		イギリス文化論	2		2
		アメリカ文化論	2		2
		フランス文化論	2		2
		ドイツ文化論	2		2
		中国文化論 a	2		2
		中国文化論 b	2		2
		韓国文化論 a	2		2
		韓国文化論 b	2		2
		文化人類学特講 a	2		2
		文化人類学特講 b	2		2
		文化人類学特講 c	2		2
		文化人類学特講 d	2		2
		異文化コミュニケーション論特講 a	2		2
		異文化コミュニケーション論特講 b	2		2
		異文化コミュニケーション論特講 c	2		2
		異文化コミュニケーション論特講 d	2		2
		English for Global Competency a	2		2
		English for Global Competency b	2		2
		English for Global Competency c	2		2
		English for Global Competency d	2		2
国際関係論特講 A-a	2		2		

	国際関係論特講 A-b	2	2
	国際関係論特講 A-c	2	2
	国際関係論特講 A-d	2	2
	国際関係論特講 B-a	2	2
	国際関係論特講 B-b	2	2
	法学特講 A-a(コミュニケーションと法)	2	2
	法学特講 A-b(コミュニケーションと法)	2	2
	法学特講 B-a(比較政治制度)	2	2
	法学特講 B-b(比較政治制度)	2	2
	法学特講 C-a(法女性学)	2	2
	法学特講 C-b(法女性学)	2	2
	女性論 a	2	2
	女性論 b	2	2
	音楽社会学 a	2	2
	音楽社会学 b	2	2
	心理学特講 A-a	2	2
	心理学特講 A-b	2	2
	心理学特講 A-c	2	2
	心理学特講 A-d	2	2
	心理学特講 B-a	2	2
	心理学特講 B-b	2	2
	心理学文献講読 a	2	2
	心理学文献講読 b	2	2
歴史・思想専修	西洋史入門	2	2
	日本史入門 A(概論)	2	2
	日本史入門 B(概論)	2	2
	東洋史入門 a	2	2
	東洋史入門 b	2	2
	地理学基礎論(自然地理学を含む)	2	2
	人文地理学	2	2
	地誌学	2	2
	哲学入門	2	2
	倫理学入門	2	2
	ラテン語 I-a	2	2
	ラテン語 I-b	2	2
	西洋史特講 A-a	2	2
	西洋史特講 A-b	2	2
	西洋史特講 A-c	2	2
	西洋史特講 B-a	2	2
	西洋史特講 B-b	2	2
	西洋史特講 C-a	2	2
	西洋史特講 C-b	2	2
	西洋史特講 D-a	2	2
	西洋史特講 D-b	2	2
	西洋史文献講読 a	2	2
	西洋史文献講読 b	2	2

西洋史文献講読 c	2	2
西洋史文献講読 d	2	2
イギリス文化史	2	2
アメリカ文化史	2	2
フランス文化史	2	2
ドイツ文化史	2	2
キリスト教文化論 a	2	2
キリスト教文化論 b	2	2
考古学	2	2
日本史特講 A-a(学説史)	2	2
日本史特講 A-b	2	2
日本史特講 A-c	2	2
日本史特講 B-a(学説史)	2	2
日本史特講 B-b	2	2
日本史特講 B-c	2	2
日本史特講 C-a	2	2
日本史特講 C-b	2	2
日本史特講 D	2	2
歴史資料論 A	2	2
歴史資料論 B	2	2
歴史資料論 C	2	2
歴史資料論 D	2	2
東洋史特講 a	2	2
東洋史特講 b	2	2
古代・中世哲学史	2	2
近世・近代哲学史	2	2
現代哲学史	2	2
哲学特講 A-a	2	2
哲学特講 A-b	2	2
哲学特講 A-c	2	2
哲学特講 A-d	2	2
哲学特講 B-a	2	2
哲学特講 B-b	2	2
哲学特講 B-c	2	2
哲学特講 B-d	2	2
倫理学特講 A-a	2	2
倫理学特講 A-b	2	2
倫理学特講 A-c	2	2
倫理学特講 A-d	2	2
倫理学特講 B-a	2	2
倫理学特講 B-b	2	2
倫理学特講 B-c	2	2
倫理学特講 B-d	2	2
ラテン語Ⅱ-a	2	2
ラテン語Ⅱ-b	2	2
古典ギリシア語 a	2	2

		古典ギリシア語 b	2		2
		身体表現論	2		2
		造形美術論	2		2
		映像表現論	2		2
共通		文総特殊講義 a	2		2
		文総特殊講義 b	2		2
		文総特殊講義 c	2		2
		文総特殊講義 d	2		2
現代社会専修		異文化コミュニケーション論演習 a	2		2
		異文化コミュニケーション論演習 b	2		2
		異文化コミュニケーション論演習 c	2		2
		異文化コミュニケーション論演習 d	2		2
		文化人類学演習 a	2		2
		文化人類学演習 b	2		2
		文化人類学演習 c	2		2
		文化人類学演習 d	2		2
		国際関係論演習 a	2		2
		国際関係論演習 b	2		2
		国際関係論演習 c	2		2
		国際関係論演習 d	2		2
		法学演習 a	2		2
		法学演習 b	2		2
		法学演習 c	2		2
		法学演習 d	2		2
		心理学演習 a	2		2
		心理学演習 b	2		2
		心理学演習 c	2		2
		心理学演習 d	2		2
歴史・思想専修	演習	西洋史演習 a	2		2
		西洋史演習 b	2		2
		西洋史演習 c	2		2
		西洋史演習 d	2		2
		日本史演習 A-a	2		2
		日本史演習 A-b	2		2
		日本史演習 A-c	2		2
		日本史演習 A-d	2		2
		日本史演習 B-a	2		2
		日本史演習 B-b	2		2
		日本史演習 B-c	2		2
		日本史演習 B-d	2		2
		哲学演習 a	2		2
		哲学演習 b	2		2
		哲学演習 c	2		2
		哲学演習 d	2		2
		倫理学演習 a	2		2

		倫理学演習 b	2		2
		倫理学演習 c	2		2
		倫理学演習 d	2		2
現代社会専修	関連科目 卒業研究	「現代社会」卒業研究演習	4		4
歴史・思想専修		「歴史・思想」卒業研究演習	4		4
現代社会専修		「現代社会」卒業研究	4		4
歴史・思想専修		「歴史・思想」卒業研究	4		4
		計	384		384

<第10条関係>

別表第4 ウェルビーイング学部 学科専門科目

(1)地域創生学科

区分		授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数	
総合	地域創生の基礎	ウェルビーイングの基礎	2	2		
		生活経営論	2		2	
		生活環境基礎	2		2	
		社会福祉論	2		2	
		プロジェクトマネジメント入門	2	2		
		対人コミュニケーションの技法	2		2	
		プロジェクトマネジメント基礎演習	2		2	
		ワークライフキャリアデザイン	2		2	
		女性リーダーシップ論	2		2	
	専門研究	専門演習	2	2		
		卒業研究演習	4	4		
		卒業研究	4	4		
	ライフサイエンス	衣生活科学	現代衣生活論	2	2	
			服飾文化史	2		2
衣造形実習			2		2	
テキスタイル工芸実習			2		2	
被服学実験			2		2	
食生活科学		現代食生活論	2	2		
		食物の科学	2		2	
		食生活と文化	2		2	
		食生活と栄養	2		2	
		調理学実習	2		2	
住生活科学		現代住生活論	2	2		
		住居計画	2		2	
		住生活文化論	2		2	
		北国の暮らしと居住環境	2		2	
		住居デザイン演習Ⅰ	2		2	
家庭経営・家族学		家族関係論	2	2		
		現代の生活経済	2		2	
		消費者教育論	2		2	
		家族と法律	2		2	
		男女共同参画社会と女性	2		2	
子ども・生涯発達科学		子どもの発達と保育	2		2	
	子ども家庭福祉	2		2		
	子どもと社会	2		2		
	心と体の日常生活支援	1		1		
	生活技術	1		1		
社会福祉学	ソーシャルワーク論	2	2			
	ソーシャルワーク演習	2		2		
	福祉政策論	2		2		
	高齢者福祉論	2		2		

		暮らしと社会保障	2		2
		地域生活と福祉	2		2
		ユニバーサルデザイン	2		2
プロジェクトマネジメント	ワークショップ	ワークショップ入門	2	2	2
		ワークショップデザイン	2		2
		論理的思考とデザイン思考	2		2
		プレゼンテーションの技法	2		2
		映像表現の技法	2		2
		ファシリテーショングラフィック入門	2		2
		インストラクショナルデザイン入門	2		2
	ソーシャルラーニング	地域社会調査法	2	2	2
		インタビューの技法	2		2
		統計調査と地域創生	2		2
		北海道の地域と文化	2		2
		マーケティングリサーチ	2		2
組織マネジメント論		2	2		
地域資源活用法		2	2		
スタートアップ基礎演習		2	2		
メディア総論	2				
プロジェクト	ソーシャル	プロジェクトマネジメントⅠ	4		4
		プロジェクトマネジメントⅡ	4		4
		プロジェクトマネジメントⅢ	2		2
データサイエンス	基礎	データサイエンス入門	2	2	
		AI 入門	2	2	
		ICT 入門 A	2		2
		ICT 入門 B	2		2
		生活とデータ	2		2
	応用	モバイルアプリケーション演習	2		2
		ICT・データサイエンスの活用演習	2		2
		データサイエンス応用プロジェクト	2		2
計			154	32	122

< 第11条関係 >

(2) 食環境マネジメント学科

区分	授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数
社会・環境と健康	食生活論	2	2	
	公衆衛生学 A	2	2	
	公衆衛生学 B	2	2	
	高齢者健康論	2		2
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学	2	2	
	解剖生理学 A	2	2	
	解剖生理学 B	2	2	
	解剖生理学実験	2	2	
	疾病医療学 A	2	2	
	疾病医療学 B	2	2	
	疾病医療学 C	2	2	
	分子栄養学	2		2
	栄養生理学・生化学実験	1	1	
食へ物と健康	食品化学	2	2	
	食品加工学	2	2	
	食品実験 I	2	2	
	食品実験 II	1	1	
	調理科学	2	2	
	調理実習 I	2	2	
	調理実習 II	2	2	
	食品衛生学	2	2	
	基礎栄養学	2	2	
応用栄養学	食事摂取基準論	2	2	
	ライフステージ応用栄養学	2	2	
	環境・スポーツ栄養学	2	2	
	応用栄養学実習	2	2	
栄養教育論	栄養教育論 I	2	2	
	栄養教育論 II	2	2	
	栄養教育論演習 I	1	1	
	栄養教育論演習 II	1	1	
	栄養教育論実習	1	1	
臨床栄養学	臨床栄養学 A	2	2	
	臨床栄養学 B	2	2	
	臨床栄養学 C	2	2	
	臨床栄養管理論	2		2
	臨床栄養学実習 I	2	2	
	臨床栄養学実習 II	2		2
	実践臨床栄養学	2		2
公衆栄養学	公衆栄養学 A	2	2	
	公衆栄養学 B	2	2	
	地域栄養学実習	1		1
給食経営管理論	給食経営管理論 I	2	2	
	給食経営管理論 II	2	2	
	給食経営管理実習 I	2	2	

総合演習	総合演習 A	1	1	
	総合演習 B	1		1
	対人関係トレーニング	1	1	
	管理栄養士演習 I	2		2
	管理栄養士演習 II	2		2
臨地実習	臨床栄養学実習Ⅲ	2	2	
	公衆栄養学実習	1	1	
	給食経営管理実習Ⅱ	1	1	
	管理栄養士実務実習	2		2
総合	食環境とウェルビーイング	2	2	
	栄養士のための化学	2		2
	ストレスマネジメント論	2		2
	科学英語	1		1
	学校栄養教育Ⅰ	2		2
	学校栄養教育Ⅱ	2		2
	社会調査演習	1		1
	社会調査実習	2		2
	栄養統計学	2		2
	食品開発論	2		2
	食品開発マネジメント実習	2		2
	卒業演習Ⅰ	0.5	0.5	
	卒業演習Ⅱ	1.5	1.5	
	卒業研究	6		6
	計		121	79

< 第11条関係 >

(3)子ども教育学科

区分	授業科目	開設 単位数	必修 単位数	選択単 位数	備 考	
保育・教育の理論	教育原理	2	2			
	保育原理	2		2		
	教師・保育者論	2		2		
	教育方法論（情報通信技術の活用含む）	2		2		
	教育制度論	2		2		
	教育課程総論（全体的な計画を含む）	2		2		
	保幼小連携特論	2		2		
	学級経営論	2		2		
	道徳教育の理論と実践	2		2		
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2		2		
	地域社会と学校	2		2		
	現代社会と教育	2		2		
	子どもの理解	教育心理学	2		2	
学校教育心理学		2		2		
発達心理学		2	2			
児童期以降の発達と心理		2		2		
子どもの理解と発達援助		2		2		
幼児理解と援助		2		2		
特別な教育的ニーズに対する理解と支援		2		2		
特別支援教育総論		2	2			
特別支援教育実践論		2		2		
知的障害児の心理・生理・病理		2		2		
肢体不自由児の心理・生理・病理		2		2		
病弱児の心理・生理・病理		2		2		
知的障害児教育		2		2		
肢体不自由児教育		2		2		
病弱児教育		2		2		
知的障害児教育総論		2		2		
肢体不自由児教育総論		2		2		
視覚・聴覚障害児の心理・生理・病理		1		1		
重複・発達障害児の心理・生理・病理	2		2			
視覚・聴覚障害児教育総論	1		1			
重複・発達障害児教育総論	2		2			
子ども教育専修	保育・教育の内容	総合表現	2		2	
		国語（書写含む）	2		2	
		社会	2		2	
		算数	2		2	
		理科	2		2	
		生活	2		2	
		音楽	2		2	
		音楽表現法	2		2	
		図画工作	2		2	
		造形表現法	2		2	
		家庭	2		2	

		初等体育	2		2	
		スポーツ実技 A (水泳)	1		1	
		スポーツ実技 B (スキー)	1		1	
		英語	2		2	
		保育内容 (健康)	1		1	
		保育内容 (人間関係)	1		1	
		保育内容 (環境)	1		1	
		保育内容 (言葉)	1		1	
		保育内容 (表現)	1		1	
	保育内容・教科の指導法	国語科教育法	2		2	
		社会科教育法	2		2	
		算数科教育法	2		2	
		理科教育法	2		2	
		生活科教育法	2		2	
		音楽科教育法	2		2	
		図画工作科教育法	2		2	
		家庭科教育法	2		2	
		体育科教育法	2		2	
		英語科教育法	2		2	
		保育内容総論	1		1	
		保育内容の指導法 (健康)	2		2	
		保育内容の指導法 (人間関係)	2		2	
		保育内容の指導法 (環境)	2		2	
		保育内容の指導法 (言葉)	2		2	
		保育内容の指導法 (表現)	2		2	
子ども生活支援専修	保育・教育の理論	社会福祉論	2		2	
		子ども家庭福祉論	2	2		
		社会的養護	2		2	
		児童館・放課後児童クラブの機能と運営	2		2	
		特別支援教育と福祉	2		2	
		教育相談の理論と方法	2		2	
	子どもの理解	家庭支援論	2		2	
		子どもの保健	2		2	
		子どもの健康と安全	2		2	
		子どもの食と栄養	2		2	
	保育・教育の内容	子ども文化論	2		2	
		乳児保育 I	2		2	
		乳児保育 II	1		1	
		社会的養護内容	2		2	
		子どもの遊びと学び	2		2	
	子どもと家族の支援	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法 I	2		2	
		児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法 II	2		2	
		子ども家庭支援の心理学	2		2	
		子育て支援 (演習)	2		2	
		子育て支援 (講義)	2		2	
生徒指導・進路指導		2		2		

共通	実習	児童館実習指導	1		1	
		児童館実習	2		2	
		保育実習指導Ⅰ（保育所）	1		1	
		保育実習Ⅰ（保育所）	2		2	
		保育実習指導Ⅰ（福祉施設）	1		1	
		保育実習Ⅰ（福祉施設）	2		2	
		保育実習指導Ⅱ（保育所）	1		1	
		保育実習Ⅱ（保育所）	2		2	
		保育実習指導Ⅱ（福祉施設）	1		1	
		保育実習Ⅱ（福祉施設）	2		2	
		保育実習指導Ⅱ（児童館）	1		1	
		保育実習Ⅱ（児童館）	2		2	
		教育実習指導（特別支援学校）	1		1	
		教育実習（特別支援学校）	2		2	
		教育実習指導（幼稚園・小学校）	1		1	
	教育実習（幼稚園・小学校）	4		4		
	専門研究法	子どもとウェルビーイング	1	1		
		研究調査法	2		2	
		臨床発達検査法	2		2	
		保育・教職実践演習（幼稚園・小学校）	2		2	
専門演習		2	2			
卒業研究演習		2		2		
卒業研究		2		2		
計			208	11	197	

<第11条関係>

別表第5 教員免許に関する科目（「指導法に関する科目等」）

(1) 文学部

授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数	備考
英語科教育法Ⅰ	2		2	
英語科教育法Ⅱ	2		2	
英語科教育法Ⅲ	2		2	
英語科教育法Ⅳ	2		2	
国語科教育法Ⅰ	4		4	
国語科教育法Ⅱ	2		2	
国語科教育法Ⅲ	2		2	
書道科教育法Ⅰ	2		2	
書道科教育法Ⅱ	2		2	
社会科系教育法Ⅰ（地歴）	2		2	
社会科系教育法Ⅱ（公民）	2		2	
地歴科教育法	2		2	
公民科教育法	2		2	
教育原理	2		2	
教師論	2		2	
教育制度論	2		2	
教育心理学	2		2	
特別支援教育論	2		2	
教育課程論	2		2	
道德教育	2		2	
特別活動の指導法・総合的な 学習の時間の指導法	2		2	
教育方法論	2		2	
教育現場でのICT活用	1		1	
生徒指導・進路指導	2		2	
教育相談	2		2	
教育実習ⅠA	2		2	
教育実習ⅠB	2		2	
教育実習Ⅱ	2		2	
教育実習Ⅲ	2		2	
教職実践演習（中・高）	2		2	
北海道の教育	2		2	
教職課外活動Ⅰ	1		1	
教職課外活動Ⅱ	1		1	
教職課外活動Ⅲ	1		1	
介護等体験	1		1	
計	67		67	

< 第10条関係 >

(2) 人間生活学部

授業科目	開設単位数	必修単位数	選択単位数	備考
中等家庭科教育法Ⅰ	2		2	
中等家庭科教育法Ⅱ	2		2	
中等家庭科教育法Ⅲ	2		2	
中等家庭科教育法Ⅳ	2		2	
福祉科教育法Ⅰ	2		2	
福祉科教育法Ⅱ	2		2	
教育原理	2		2	
教師論	2		2	
教育制度論	2		2	
教育心理学	2		2	
特別支援教育論	2		2	
教育課程論	2		2	
道德教育	2		2	
特別活動の指導法・総合的 な学習の時間の指導法	2		2	
教育方法論	2		2	
教育現場でのICT活用	1		1	
生徒指導・進路指導	2		2	
生徒指導	2		2	
教育相談	2		2	
教育実習ⅠA	2		2	
教育実習ⅠB	2		2	
教育実習Ⅱ	2		2	
教育実習Ⅲ	2		2	
栄養教育実習Ⅰ	1		1	
栄養教育実習Ⅱ	1		1	
教職実践演習(中・高)	2		2	
教職実践演習(栄養教諭)	2		2	
北海道の教育	2		2	
教職課外活動Ⅰ	1		1	
教職課外活動Ⅱ	1		1	
教職課外活動Ⅲ	1		1	
介護等体験	1		1	
計	57		57	

< 第11条関係 >

別表第6 文学部 履修方法与卒業必要単位数

(1) 英語文化学科

授業科目区分 単位区分	大学共通科目		英語文化学科	日本語・日本文学科	文化総合学科	文学部
	教養科目	外国語科目	専門科目	専門科目	専門科目	オープン科目
必修単位	3単位		28単位(*1)			
選択必修単位	8単位以上	8単位以上	32単位以上(*2)			
選択単位	11単位以上					
自由選択単位	34単位以上					
卒業必要単位数合計	124単位以上					

・教養科目は、区分「人間と宗教」から2単位以上、区分「人間形成」のうち、「国際理解」「社会と文化」「歴史・思想」から2単位以上、「自然・科学」「健康」から2単位以上、区分「リテラシー」から2単位以上選択必修。

・外国語科目は、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語のうち1外国語8単位以上選択必修。

(*1)英語文化学科の必修科目は、区分「学科基礎科目」の18単位、区分「卒業研究関連科目」の「Academic Writing I」「Academic Writing II」の各1単位及び「卒業研究演習」「卒業研究」の各4単位。「卒業研究演習」「卒業研究」については、キリスト教学専修を選択した場合は、文学部オープン科目の「卒業研究演習」「卒業研究」各4単位で充当可。

(*2)英語文化学科の選択必修科目は、区分「専門講読科目」のうち選択する専修の2単位を含む4単位以上、区分「基礎演習科目」のうち文学・文化専修と言語・コミュニケーション専修からそれぞれ2単位以上、区分「講義科目」のうち選択する専修から8単位、それ以外の専修から4単位以上および共通から2単位以上、区分「実践英語科目・イングリッシュ・スキルズ」のうち「English Discussion & Presentation c~l」の中から2単位以上、区分「演習科目」のうち、選択する専修から8単位以上。

ただし、キリスト教学専修を選択した場合は、区分「専門講読科目」から4単位以上、区分「基礎演習科目」のうち文学・文化専修と言語・コミュニケーション専修からそれぞれ2単位以上、区分「講義科目」については文学・文化専修と言語・コミュニケーション専修からそれぞれ4単位以上、共通から2単位以上、区分「実践英語科目・イングリッシュ・スキルズ」のうち「English Discussion & Presentation c~l」の中から2単位以上、区分「演習科目」から4単位以上、合計24単位以上。

※大学共通科目のうち教養科目は、必修・選択必修・選択単位を含め、32単位を超えて卒業必要単位に算入することはできない。

※教員免許に関する科目（「指導法に関する科目等」）は、指定された科目のうち8単位まで自由選択単位として算入できる。

※他学部学科専門科目は、12単位まで自由選択単位として算入できる。

※協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）は、12単位まで自由選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

(2) 日本語・日本文学科

授業科目区分 単位区分	大学共通科目		日本語・日本文学科	英語文化学科	文化総合学科	文学部
	教養科目	外国語科目	専門科目	専門科目	専門科目	オープン科目
必修単位	3単位		8単位(*1)			
選択必修単位	8単位以上	8単位以上	32単位以上(*2)			
選択単位	11単位以上		8単位以上			
自由選択単位	46単位以上					
卒業必要単位数合計	124単位以上					

- ・教養科目は、区分「人間と宗教」から2単位以上、区分「人間形成」のうち、「国際理解」「社会と文化」「歴史・思想」から2単位以上、「自然・科学」「健康」から2単位以上、区分「リテラシー」から2単位以上選択必修。
- ・外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語のうち1外国語8単位以上、または英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の中から2外国語各4単位、合計8単位以上選択必修。
- ・外国語(英語)の場合は、英語文化学科「講読科目」で充当可。

(*1)日本語・日本文学科の必修科目は、「卒業研究ゼミⅡ」「卒業研究」の各4単位。キリスト教学専修を選択した場合は、文学部オープン科目の「卒業研究演習」「卒業研究」各4単位で充当可。

(*2)日本語・日本文学科専門科目の選択必修科目は、区分「共通」から12単位以上、選択した専修から16単位以上、選択しない専修の講義科目から4単位以上。
ただし、キリスト教学専修を選択した場合は、区分「共通」から8単位以上、日本語・日本文学専修と日本文化専修の講義科目からそれぞれ4単位以上、合計16単位以上。

※大学共通科目のうち教養科目は、必修・選択必修・選択単位を含め、32単位を超えて卒業必要単位数に算入することはできない。

※教員免許に関する科目(「指導法に関する科目等」)は、指定された科目のうち8単位まで自由選択単位として算入できる。

※他学部学科専門科目及び協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)は、合わせて12単位まで自由選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

(3) 文化総合学科

授業科目区分 単位区分	大学共通科目		文化総合学科 専門科目	英語文化学科 専門科目	日本語・日本文学科 専門科目	文学部 オープン科目
	教養科目	外国語科目				
必修単位	3単位					
選択必修単位	16単位以上	8単位以上	40単位以上(*)			
選択単位	3単位以上		12単位以上			
自由選択単位	42単位以上					
卒業必要単位数合計	124単位以上					

- ・教養科目は、区分「人間と宗教」から2単位以上、区分「人間形成」のうち、「国際理解」から2単位以上、「社会と文化」から2単位以上、「歴史・思想」から4単位以上、「自然・科学」「健康」から2単位以上、区分「リテラシー」から4単位以上選択必修。
- ・外国語科目は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語のうち1外国語8単位以上選択必修。
- ・外国語(英語)の場合は、英語文化学科「講読科目」で充当可。

(*)文化総合学科の選択必修科目は、区分「文化総合学科基礎演習」から4単位、区分「講義科目」のうち、「異文化コミュニケーション論入門」「文化人類学入門」から2単位以上、「基礎法学A(憲法)」「国際関係論入門」及び「心理学入門」から2単位以上、「西洋史入門」「日本史入門」から2単位以上、「哲学入門」「倫理学入門」から2単位以上、区分「演習」のうち卒業研究指導教員の演習を4単位以上、区分「講義科目」のうち卒業研究指導教員の特講科目を4単位以上、それ以外の同一専任教員の特講科目を4単位のほか、選択した専修の特講科目のうち卒業研究指導教員以外の担当科目を8単位以上。区分「卒業研究関連科目」のうち選択した専修の卒業研究演習及び卒業研究を各4単位。

ただし、キリスト教学専修を選択した場合は、区分「文化総合学科基礎演習」から4単位、区分「講義科目」のうち「異文化コミュニケーション論入門」「文化人類学入門」から2単位以上、「基礎法学A(憲法)」「国際関係論入門」及び「心理学入門」から2単位以上、「西洋史入門」「日本史入門」から2単位以上、「哲学入門」「倫理学入門」から2単位以上、区分「演習」のうち同一専任教員の演習を4単位以上、区分「講義科目」のうち区分「演習」で履修した教員の特講科目を4単位以上、卒業研究演習及び卒業研究には文学部オープン科目の「卒業研究演習」「卒業研究」各4単位を充当、合計28単位以上。

※大学共通科目のうち教養科目は、必修・選択必修・選択単位を含め、32単位を超えて卒業必要単位に算入することはできない。

※教員免許に関する科目(「指導法に関する科目等」)は、指定された科目のうち8単位まで自由選択単位として算入できる。

※他学部学科専門科目は、12単位まで自由選択単位として算入できる。

※協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)は、12単位まで自由選択単位として算入できる。

<第18条関係>

別表第7 ウェルビーイング学部 履修方法と卒業必要単位数

(1) 地域創生学科

授業科目区分 単位区分	基盤教育科目						地域創生学科 専門科目
	①建学の理念科目	②スタートアップセミナー	③教養実践科目	④教養コア科目	⑤藤プロジェクト	⑥外国語科目	
必修単位	2単位	1単位	3単位			2単位	32単位
選択必修単位	2単位以上			4単位以上		4単位以上	20単位以上
選択単位							24単位以上
自由選択単位	30単位以上						
卒業必要単位数合計	124単位以上						

・基盤教育科目は、区分「建学の理念科目」の必修科目以外の科目から2単位以上、区分「教養コア科目」から4単位以上、区分「外国語科目」から4単位以上選択必修。

・学科専門科目は、小区分「地域創生の基礎」「衣生活科学」「食生活科学」「住生活科学」「家庭経営・家族学」「子ども・生涯発達科学」「社会福祉学」「ワークショップデザイン」「ソーシャルラーニング」「応用」からそれぞれ2単位以上選択必修。

※他学科専門科目は、12単位まで自由選択単位として算入できる。

※教員免許に関する科目（「指導法に関する科目等」）は、指定された科目のうち12単位まで自由選択単位として算入できる。

※他学部学科専門科目及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）は、合わせて12単位まで自由選択単位として算入できる。

※他大学等で修得した単位は、12単位まで自由選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

(2) 食環境マネジメント学科

授業科目区分 単位区分	基盤教育科目						食環境マネジメント学科 専門科目
	①建学の理念科目	②スタートアップセミナー	③教養実践科目	④教養コア科目	⑤藤プロジェクト	⑥外国語科目	
必修単位	2単位	1単位	3単位			2単位	79単位
選択必修単位	2単位以上			4単位以上		4単位以上	
選択単位							27単位以上
自由選択単位	2単位以上						
卒業必要単位数合計	126単位以上						

・基盤教育科目は、区分「建学の理念科目」の必修科目以外の科目から2単位以上、区分「教養コア科目」から4単位以上、区分「外国語科目」から4単位以上選択必修。

※他学科専門科目、他学部学科専門科目、教員免許に関する科目（「指導法に関する科目等」）（指定科目）及び協定校修得科目（本学教育課程表外の科目）は、合わせて8単位まで選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

(3) 子ども教育学科

授業科目区分 単位区分	基盤教育科目						子ども教育学科 専門科目
	①建学の理念 科目	②スタートアップ セミナー	③教養 実践科 目	④教養 コア科目	⑤藤 プロシ ェクト	⑥外国 語科目	
必修単位	2単位	1単位	3単位			2単位	11単位
選択必修単位	2単位 以上			4単位 以上		4単位 以上	幼免・小免指定科目から 48単位以上
選択単位							
自由選択単位	50単位以上						
卒業必要単位数合計	127単位以上						

・基盤教育科目は、区分「建学の理念科目」の必修科目以外の科目から2単位以上、区分「教養コア科目」から4単位以上、区分「外国語科目」から4単位以上選択必修。

※他学科専門科目、他学部学科専門科目、協定校修得科目(本学教育課程表外の科目)及び他大学等で修得した科目は、合わせて8単位まで自由選択単位として算入できる。

< 第18条関係 >

別表第8 教育職員免許状の種類と免許教科の種類

学部	学科	免許状の種類	免許教科
文学部	英語文化学科	中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状	外国語(英語) 外国語(英語)
	日本語・日本文学科	中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状	国語 国語・書道
	文化総合学科	中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状	社会 地理歴史・公民
ウェルビーイング 学部	地域創生学科	中学校教諭1種免許状 高等学校教諭1種免許状	家庭 家庭
	食環境マネジメント学科	栄養教諭1種免許状	
	子ども教育学科	幼稚園教諭1種免許状 小学校教諭1種免許状 特別支援学校教諭1種免許状	

< 第22条関係 >

別表第9 入学検定料

検定料	30,000円
-----	---------

< 第26条関係 >

別表第10 授業料その他の納付金

年度	学部・学科		学年	費目		備考	
2019年度以降 入学生学費一 覧	文学部		1年	入学申込金	210,000円		
				授業料(年額)	706,000円		
			2年～4年	授業料(年額)	736,000円		
				教育充実費(年額)	170,000円		
	ウエルビー ニング学部	地域創生 学 科	1年	入学申込金	210,000円		
				授業料(年額)	738,000円		
				2年～4年	授業料(年額)		768,000円
					教育充実費(年額)		190,000円
		食環境マ ネジメント 学 科	1年	入学申込金	210,000円		
				授業料(年額)	768,000円		
		2年～4年	授業料(年額)	798,000円			
			教育充実費(年額)	210,000円			
子ども 教育学科	1年	入学申込金	210,000円				
		授業料(年額)	750,000円				
		2年～4年	授業料(年額)	780,000円			
			教育充実費(年額)	200,000円			
2018年度以前 入学生学費一 覧	文学部		1年～4年	授業料(年額)	707,500円		
				教育充実費(年額)	150,000円		
	人間生活 学部	人間生活 学 科	1年～4年	授業料(年額)	738,700円		
			教育充実費(年額)	170,000円			
		食物栄養 学 科	1年～4年	授業料(年額)	769,900円		
				教育充実費(年額)	190,000円		

図書館情報学課程 受講料	司書	50,000円
	司書教諭	30,000円

<第41条関係>

別表第11 図書館情報学課程に関する科目

(1) 司書となる資格を取得するための科目・単位数

区分		授業科目	単位数
必修科目	基礎科目	生涯学習概論	2
		図書館概論	2
		図書館制度・経営論	2
		図書館情報技術論	2
	図書館サービスに関する科目	図書館サービス概論	2
		児童サービス論	2
		情報サービス論	2
		情報サービス演習 A	1
		情報サービス演習 B	1
	図書館情報資源に関する科目	図書館情報資源概論	2
		情報資源組織論	2
		情報資源組織演習 A	1
情報資源組織演習 B		1	
選択科目	図書館に関する科目	図書館基礎特論	1
		図書館サービス特論	1
		図書館情報資源特論	1
		図書・図書館史	1
		図書館施設論	1
		図書館総合演習	1
	コミュニケーションに関する科目	コミュニケーション概論 a	2
		コミュニケーション概論 b	2
		法学特講 A-a(コミュニケーションと法)	2
		法学特講 A-b(コミュニケーションと法)	2
		人間関係と心理	2
		異文化コミュニケーション	2
		国際理解教育	2
		対人関係トレーニング	1
	資料に関する科目	アーカイブズ論	2
		日本語学演習 I A	4
		日本語学演習 I B	4
		古典文学演習 I A	4
古典文学演習 I B		4	
古典文学演習 I C		4	
近現代文学演習 I A		4	
近現代文学演習 I B		4	
日本文化論演習 I A		4	
日本文化論演習 I B		4	
日本文化論演習 I C		4	
時事英語講読 a		1	
時事英語講読 b		1	
ラテン語 I -a		2	
ラテン語 I -b	2		
ラテン語 II -a	2		
ラテン語 II -b	2		
古典ギリシア語 a	2		

	古典ギリシア語 b	2
	科学英語	1
	子ども文化論	2
多様な主題の基礎科目	キリスト教と藤女子大学	2
	キリスト教人間学 A	2
	キリスト教人間学 B	2
	聖書概論 A	2
	聖書概論 B	2
	宗教と文化	2
	女性と労働	2
	女性と法律	2
	ジェンダー論	2
	文化人類学	2
	国際関係論	2
	経済学	2
	社会学	2
	日本国憲法	2
	心理学	2
	音楽	2
	美術論	2
	日本語文学	2
	英語圏文学	2
	アジア圏文学	2
	言語学	2
	子ども学	2
	西洋史	2
	日本史 A	2
	日本史 B	2
	東洋史	2
	哲学	2
	倫理学	2
	環境科学	2
	自然と化学	2
	生命科学	2
	数学	2
	物理学	2
	ライフステージ栄養学	2
	健康の科学	2
	運動の科学	2
	文章表現	2
	統計学	2
	情報処理の基礎	1
	データサイエンス基礎 I	2
データサイエンス基礎 II	2	
英語圏文学概論 a	2	
英語圏文学概論 b	2	
英語圏文化概論 a	2	
英語圏文化概論 b	2	

	英語学概論 a	2
	英語学概論 b	2
	言語学概論 a	2
	言語学概論 b	2
	共生社会への招待	2
	ボランティアと学び	2
	課題発見フィールドワーク	2
	衣食住生活のルーツ	2
	生活環境基礎	2
	現代の生活経営	2
	ライフマネジメント	2
	社会福祉論	2
	ソーシャルワーク入門演習	2
	子ども家庭福祉論 I	2
	高齢者福祉論 I	2
	ソーシャルワークの基盤と専門職 I	2
	社会保障サービス	2
	プロジェクトマネジメント入門	2
	対人コミュニケーションの技法	2
	プロジェクトマネジメント基礎演習	2
	女性リーダーシップ論	2
	チームビルディング演習	2
	食生活論	2
	生化学 A	2
	生化学 B	2
	解剖生理学 A	2
	解剖生理学 B	2
	食品化学 A	1
	調理科学	2
	食事摂取基準論	2
	現代社会と教育	2
	発達心理学	2
	子ども家庭福祉論	2
	計	256
必修13科目22単位を含む25単位以上修得すること*		

*選択科目の履修にあたっては、「図書館に関する科目」2科目2単位を含む、3科目3単位以上履修すること。

<第22条の3関係>

(2) 司書教諭となる資格を取得するための科目・単位数

区分		授業科目	単位数
必修科目	学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館	2
	学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成	2
	学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2
	読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2
	情報メディアの活用	情報メディアの活用	2
計			10

< 第22条の3関係 >

(3) 学校司書に必要な科目・単位数

区分		授業科目	単位数	
必修科目	学校図書館の運営・管理 ・サービスに関する科目	学校経営と学校図書館	2	
		図書館情報技術論	2	
		図書館情報資源概論	2	
		情報資源組織論	2	
		情報資源組織演習 A	1	
		情報資源組織演習 B	1	
		図書館サービス概論	2	
		情報サービス論	2	
	児童生徒に対する教育支援 に関する科目	学校教育概論	2	
		学習指導と学校図書館	2	
		読書と豊かな人間性	2	
	計			20

< 第22条の3関係 >

別表第12 日本語教員養成課程に関する科目

区分	授業科目	開設 単位数	必修 単位数	選択 単位数	備考
言語	日本語文法 a	2	2		
	日本語文法 b	2	2		
	音声学	2	2		
	対照言語学	2		2	
	言語学概論 a	2		2	
	言語学概論 b	2		2	
	言語学講義 A	2		2	
	言語学講義 B	2		2	
	翻訳ワークショップ A-a	1		1	
	翻訳ワークショップ A-b	1		1	
	翻訳ワークショップ B-a	1		1	
	翻訳ワークショップ B-b	1		1	
	日本語学 A-a	2		2	
	日本語学 A-b	2		2	
	日本語学 B	2		2	
	日本語学 C	2		2	
	日本語表現法 A-a	2		2	
	日本語表現法 A-b	2		2	
	日本語表現法 B-a	2		2	
	日本語表現法 B-b	2		2	
	日本語学概論 a	2		2	
	日本語学概論 b	2		2	
	日本語学研究 A-a	2		2	
	日本語学研究 A-b	2		2	
	日本語学研究 B-a	2		2	
	日本語学研究 B-b	2		2	
	日本語学研究 C-a	2		2	
	日本語学研究 C-b	2		2	
	日本語学研究 D-a	2		2	
	日本語学研究 D-b	2		2	
	日本語学研究 E-a	2		2	
	日本語学研究 E-b	2		2	
	日本文化とアジア C-a	2		2	
日本文化とアジア C-b	2		2		
日本語学演習 I A	4		4		
日本語学演習 I B	4		4		
言語と社会	社会言語学a	2	2		
	社会言語学b	2		2	
	コミュニケーション概論 a	2		2	
	コミュニケーション概論 b	2		2	
	異文化コミュニケーション	2		2	
	異文化コミュニケーション論入門	2		2	
	異文化コミュニケーション論特講 a	2		2	
	異文化コミュニケーション論特講 b	2		2	

	異文化コミュニケーション論特講 c	2		2	
	異文化コミュニケーション論特講 d	2		2	
	法学特講 A-a(コミュニケーションと法)	2		2	
	法学特講 A-b(コミュニケーションと法)	2		2	
言語と心理	日本語の学習と習得	2	2		
	第二言語習得概論	2		2	
	心理学	2		2	
	心理学入門	2		2	
	心理学特講 A-a	2		2	
	心理学特講 A-b	2		2	
	心理学特講 A-c	2		2	
	心理学特講 A-d	2		2	
	心理学特講 B-a	2		2	
	心理学特講 B-b	2		2	
	教育心理学	2		2	
社会・文化・地域	日本語教育概論	2	2		
	古典文学 A	2		2	
	古典文学 B	2		2	
	古典文学 C	2		2	
	近現代文学 A	2		2	
	近現代文学 B	2		2	
	近現代文学 C	2		2	
	日本文化 A	2		2	
	日本文化 B	2		2	
	日本文化 C	2		2	
	日本文化 D	2		2	
	日本文化 E	2		2	
	日本文学概論 a	2		2	
	日本文学概論 b	2		2	
	古典文学研究 A-a	2		2	
	古典文学研究 A-b	2		2	
	古典文学研究 B-a	2		2	
	古典文学研究 B-b	2		2	
	古典文学研究 C-a	2		2	
	古典文学研究 C-b	2		2	
	古典文学研究 D-a	2		2	
	古典文学研究 D-b	2		2	
	古典文学研究 E-a	2		2	
	古典文学研究 E-b	2		2	
	近現代文学研究 A-a	2		2	
	近現代文学研究 A-b	2		2	
	近現代文学研究 B-a	2		2	
	近現代文学研究 B-b	2		2	
	近現代文学研究 C-a	2		2	
	近現代文学研究 C-b	2		2	
近現代文学研究 D-a	2		2		
近現代文学研究 D-b	2		2		
	日本思想史 I	2		2	

	日本思想史Ⅱ	2		2	
	日本文化論 A-a	2		2	
	日本文化論 A-b	2		2	
	日本文化論 B-a	2		2	
	日本文化論 B-b	2		2	
	日本文化論 C-a	2		2	
	日本文化論 C-b	2		2	
	日本文化論 D-a	2		2	
	日本文化論 D-b	2		2	
	日本文化論 E-a	2		2	
	日本文化論 E-b	2		2	
	日本文化論 F-a	2		2	
	日本文化論 F-b	2		2	
	書道史 a	2		2	
	書道史 b	2		2	
	書論・鑑賞 a	2		2	
	書論・鑑賞 b	2		2	
	文化人類学	2		2	
	文化人類学入門	2		2	
	国際関係論	2		2	
	国際理解教育	2		2	
	政治学(国際政治学)入門	2		2	
	国際関係論入門	2		2	
	国際関係論特講 A-a	2		2	
	国際関係論特講 A-b	2		2	
	国際関係論特講 A-c	2		2	
	国際関係論特講 A-d	2		2	
	日本国憲法	2		2	
	基礎法学 A(憲法)	2		2	
	基礎法学 B-a(民法)	2		2	
	基礎法学 B-b(民法)	2		2	
	基礎法学 C-a(国際関係法)	2		2	
	基礎法学 C-b(国際関係法)	2		2	
	法学特講 B-a(比較政治制度)	2		2	
	法学特講 B-b(比較政治制度)	2		2	
	日本史 A	2		2	
	日本史入門 A(概論)	2		2	
	日本史 B	2		2	
	日本史入門 B(概論)	2		2	
言語と教育	日本語教授法Ⅰ	2	2		
	日本語教授法Ⅱ	2	2		
	コミュニケーション教育	2		2	
	日本語教育実習A	2		2	
	日本語教育実習B	2		2	
	教育方法論	2		2	
	教育現場でのICT活用	1		1	
計		275	16	259	

< 第22条の4関係 >

別表第13 (削除)

別表第14 管理栄養士国家試験受験資格取得に関する科目

教育内容		単位数		授業科目	単位数		
		講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	食生活論	2		
				公衆衛生学 A	2		
				公衆衛生学 B	2		
	社会・環境と健康の小計				6	0	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14		生化学 A	2		
				生化学 B	2		
				解剖生理学 A	2		
				解剖生理学 B	2		
				解剖生理学実験		2	
				疾病医療学 A	2		
				疾病医療学 B	2		
				疾病医療学 C	2		
分子栄養学	2						
栄養生理学・生化学実験		1					
人体の構造と機能及び疾病の成り立ちの小計				16	3		
食べ物と健康	8	食品化学 A	1				
		食品化学 B	2				
		食品加工学 I	1				
		食品実験 I		2			
		食品実験 II		1			
		食品機能学 I	1				
		調理科学	2				
		調理実習 I		2			
		調理実習 II		2			
		微生物学	2				
		食品衛生学	2				
食べ物と健康の小計				11	7		
	28	10	専門基礎分野小計		33	10	

専門分野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学	2	
				基礎栄養学の小計	2	0
	応用栄養学	6		食事摂取基準論	2	
				ライフステージ応用栄養学	2	
				環境・スポーツ栄養学	2	
				応用栄養学実習		2
				応用栄養学の小計	6	2
	栄養教育論	6		栄養教育論Ⅰ	2	
				栄養教育論Ⅱ	2	
				栄養教育論演習Ⅰ	1	
				栄養教育論演習Ⅱ	1	
				栄養教育論実習		1
				栄養教育論の小計	6	1
	臨床栄養学	8		臨床栄養学A	2	
				臨床栄養学B	2	
				臨床栄養学C	2	
				臨床栄養管理論	2	
臨床栄養学実習Ⅰ				2		
臨床栄養学実習Ⅱ				2		
		臨床栄養学の小計	8	4		
公衆栄養学	4	公衆栄養学A	2			
		公衆栄養学B	2			
		地域栄養学実習		1		
		公衆栄養学の小計	4	1		
給食経営管理論	4	給食経営管理論Ⅰ	2			
		給食経営管理論Ⅱ	2			
		給食経営管理実習Ⅰ		2		
		給食経営管理論の小計	4	2		
総合演習	2	総合演習A	1			
		総合演習B	1			
		管理栄養士演習Ⅰ	2			
		管理栄養士演習Ⅱ	2			
		対人関係トレーニング	1			
		総合演習の小計	7	0		
臨地実習	4	臨床栄養学実習Ⅲ		2		
		公衆栄養学実習		1		
		給食経営管理実習Ⅱ		1		
		臨地実習の小計	0	4		
	32	12	専門分野小計	37	14	
	82		合計	94		

< 第22条の6関係 >

藤女子大学学則の一部改正（案） 新旧対照表

改正案					現 行				
第1章 総 則					第1章 総 則				
(中略)					(中略)				
(収容定員)					(収容定員)				
第6条 第4条に定める各学部学科の入学定員及び収容定員並びに所在地は次のとおりとする。					第6条 第4条に定める各学部学科の入学定員及び収容定員並びに所在地は次のとおりとする。				
学 部	学 科	入学定員	収容定員	所 在 地	学 部	学 科	入学定員	収容定員	所 在 地
文 学 部	英 語 文 化 学 科	<u>80名</u>	<u>320名</u>	札幌市北区北16条西2丁目1番1号	文 学 部	英 語 文 化 学 科	<u>90名</u>	<u>360名</u>	札幌市北区北16条西2丁目1番1号
	日 本 語 ・ 日 本 文 学 科	<u>80名</u>	<u>320名</u>			日 本 語 ・ 日 本 文 学 科	<u>90名</u>	<u>360名</u>	
	文 化 総 合 学 科	<u>80名</u>	<u>320名</u>			文 化 総 合 学 科	<u>90名</u>	<u>360名</u>	
ウェルビーイング学部	地 域 創 生 学 科	50名	200名	石狩市花川南4条5丁目7番地	ウェルビーイング学部	地 域 創 生 学 科	50名	200名	石狩市花川南4条5丁目7番地
	食環境マネジメント学科	80名	320名			食環境マネジメント学科	80名	320名	
	子ども教育学科	80名	320名			子ども教育学科	80名	320名	
人間生活学部	人 間 生 活 学 科	-	-	石狩市花川南4条5丁目7番地	人間生活学部	人 間 生 活 学 科	-	-	石狩市花川南4条5丁目7番地
	食 物 栄 養 学 科	-	-			食 物 栄 養 学 科	-	-	
	子 ども 教 育 学 科	-	-			子 ども 教 育 学 科	-	-	

(中略)

附 則

- 1 本学則は、2025年4月1日から施行する。
- 2 英語文化学科、日本語・日本文学科及び文化総合学科の収容定員は第6条の規定にかかわらず、2025年度から2027年度までは次のとおり定める。

<u>学部</u> <u>学科</u> <u>年度</u>	<u>文学部</u>		
	<u>英語文化学科</u>	<u>日本語・日本文 学科</u>	<u>文化総合学科</u>
<u>2025年度</u>	<u>350名</u>	<u>350名</u>	<u>350名</u>
<u>2026年度</u>	<u>340名</u>	<u>340名</u>	<u>340名</u>
<u>2027年度</u>	<u>330名</u>	<u>330名</u>	<u>330名</u>

(中略)

改正理由：2025年度からの定員変更に係る改正。

学 校 法 人 藤天使学園
2024年度 第1回 理事会決議録

- 1 日 時 2024年4月1日(月) 自午前9時00分 至午前10時00分
- 2 場 所 札幌市北区北16条西2丁目 藤女子大学北16条校舎 新棟9階会議室
- 3 出席者 理事 15名(定数15名中、出席14名)
ゴールドベック エリザベト マリア、永田淑子、松村繁彦、渡邊頼純、
田畑邦治、石川直美、柳本睦子、岩間久哉、小川恭子、菅原邦子、中川幸恵、
野口恭子、福本篤、品田典子
監事 2名 舩田雅彦、里村美喜夫
陪席者 福原直樹財務管理課長、鈴木敏郎事務局次長
事務局 齊藤文俊法人局長
欠席者 吉田洋一理事
- 4 議事録署名人
寄付行為第15条第10項に規定する理事総数の過半数に達したので、寄付行為第17条第2項により、議事録署名人として石川直美理事、岩間久哉理事を選任した。
- 5 議案審議

第4号議案 2025年度藤女子大学学則の改正について

柳本睦子理事より藤女子大学学則改正について次の通り説明があった。

藤女子大学学則の一部改正について、第4条(学部学科)について、来年度に「人間生活学部」を「ウェルビーイング学部」に名称変更する。

また、「人間生活学科」を「地域創生学科」に、「食物栄養学科」を「食環境マネジメント学科」に変更。「子ども教育学科」は変更しないこととした。

第5条の文学部の各学科入学定員を来年度90名から80名とする。

文学部は、2021年度は3学科とも充足率が1倍を超えていたことから、2022年度に人間生活学部人間生活学科定員80名のうち30名を10名ずつ文学部定員に異動し、各学科入学定員を80名から90名に変更した。しかし、2023年度には文学部の3学科が定員を大きく下回った。18歳人口の減少する中、入学定員の確保が困難との理由から定員の見直しを行うこととしたい。充足率が8割を下回る状況が3年連続すると就学支援制度の機関要件を満たさなくなるため、定員の8割入学は確保したいと考えている、と説明があった。

菅原邦子理事から「在籍者の中退者について、どのくらいの数か。また、理由は進路変更によるものか、学力的なものか。」との質疑があり、これに対し柳本睦

子理事から「中退者は大学全体で平均 25 名ぐらい、また、学力等については大学として手厚いサポートに努めている。」と説明された。

永田淑子議長が本議案について諮ったところ全員異議なく承認された。

以上をもって、理事会の議事の全部を終了したので、議長は閉会を宣した。

2024 年 4 月 1 日

議事録署名人

議 長

永田 淑子

理 事

岩間 久哉

理 事

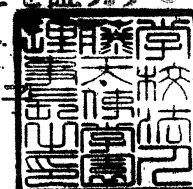
石川 直美

2024 年 4 月 1 日

この写は原本と相違ないことを証明する

学校法人 藤天使学園

理事長 永田 淑子



目 次

ア.	学則変更（収容定員変更）の内容	1
イ.	学則変更（収容定員変更）の必要性	1
ウ.	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	2

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

（１）本学は、近年の受験希望者の状況を踏まえ、令和 7（2025）年度入学生から、文学部英語文化学科、文学部日本語・日本文学科、文学部文化総合学科の入学定員の削減を行い、収容定員を次のとおり変更する。なお、大学全体としての収容定員総数は毎年 30 名ずつ減、4 年後に 120 名減となる。

学 部	学 科	入学定員			収容定員
		変更前	変更後	増減	
文 学 部	英語文化学科	90 名	80 名	△10 名	320 名
	日本語・日本文学科	90 名	80 名	△10 名	320 名
	文化総合学科	80 名	90 名	△10 名	320 名
ウェルビー イング学部	地域創生学科	50 名	50 名	—	200 名
	食環境マネジメント学科	80 名	80 名	—	320 名
	子ども教育学科	80 名	80 名	—	320 名
合計		480 名	450 名		1,800 名

イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

藤女子大学は、キリスト教的世界観や人間観を土台として、女性の全人的高等教育を通して、広く人類社会に対する愛と奉仕に生きる高い知性と豊かな人間性を備えた女性の育成を使命としており、昭和 36（1961）年 4 月の開設以来、北海道における女子教育の一翼を担ってきた。北 16 条キャンパス（札幌市）には文学部 3 学科、花川キャンパス（石狩市）には人間生活学部 3 学科を設置し、これまでも社会の多様な場で活躍する多くの人材を輩出している。

文学部英語文化学科、日本語・日本文学科、文化総合学科の 3 学科及び人間生活学部人間生活学科には、それぞれに次のような特徴がある。

英語文化学科は、大学設置以来、文学部の中核を担ってきた学科で、英語力や英語力を活かした専門的知識を身につけ、女性が社会で活躍するキャリアを築いていくことができる教育を提供している。

日本語・日本文学科も大学設置当初から開設されており、古典から現代までの充実した講義・演習を開講し、歴史・社会・文化・地域といった諸分野をも視野に入れ、日本語と日本文学の広くて深い探求が行える教育を提供している。教育職員免許では、国語科の教員採用率が高く、多くの卒業生が北海道の教育を支えている。北海道の私立大学では唯一、高校教諭「書道」の養成課程を有している。

文化総合学科は平成 12（2000）年度に開設し、現代の社会と文化を地球規模で多面的に学び、今日の社会の諸問題に対して柔軟でバランスのとれた対応ができる人材の育成を行っている。入学時には興味のある学問分野や将来像を明確に絞り切れていなかった学生も様々な学問を横断的に学ぶことで卒業時には社会に貢献できる人材として輩出している。

開設以降、3 学科では入学者選抜の機能を十分に果たすことができるだけの志願者確保の維持に努めてきており、そのため、入学者選抜を厳正に実施してもなお 2021 年度までの定員充足率は 1.00 倍を超える結果となっていたことから、定員を適正に管理することを重視すべきであるという観点から、2021 年度からの学生募集定員を 80 名から 90 名に変更した。

しかしながら、2023 年度以降、本学を受験する主要な層である道内在住の高校生の道外大学への流出が多くなっていること、さらに 18 歳人口減少の影響が予測を越えて急速に現れたこと等の原因により、入学定員を確保することが厳しい状況となっている。（【資料 1】参照）

以上のことから、文学部英語文化学科、日本語・日本文学科、文化総合学科の入学定員を減らすことにより、開設当初に想定された各学科の配置教員数に適した学生数を標準として、大学全体として教育の質的充実を実現することができるものと判断した。大学に対する社会的使命として、受験生からの受け入れ要請に応えつつ教育の質を保証し、多様化が進む学生一人ひとりに合わせたきめ細かい教育を実施していくためには、現行の教員 1 人あたりの学生数の水準を上回らないことが重要である。また、修学支援新制度の給付奨学金を利用する学生が増えており、本学が機関要件を満たさず当該制度の適用がなされなくなれば、就学が困難になる学生が多く出ることが予測される。具体的には以上の理由により、収容定員の変更を行うこととした。入学定員を各学科 10 名計 30 名削減したとしても、定員確保が厳しい状況が続く可能性はあるが、入学時のミスマッチ防止、入学後のアカデミックアドバイザーによる学生に対する丁寧な修学支援、学生相談室、学修支援室の連携による学生サポートなど、休退学者を減らす取り組みと併せて在籍者数を減らさない対策を講じていきたい。

なお、人間生活学部については、現状の教育内容に沿った学部・学科名称に変更することで、受験生に教育内容をより理解してもらうことを目的に、令和 7 年度より、学部学科名称を「ア. 学則変更（収容定員変更）」の内容のとおり変更する（2024 年 4 月〇日学則変更届出済み）。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

このたびの文学部の学則変更（収容定員変更）に伴うカリキュラム、学科ごとの教員数等教育課程並びに大学全体の施設・設備の変更はない。

【資料1】定員変更となる学科の入学定員、志願者数、合格者数、入学者数及び定員充足率の推移（過去5年）

学部・学科	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	区分					
文学部 英語文化学科	入学定員	80	80	90	90	90
	志願者数	376	294	303	209	170
	合格者数	235	214	231	182	146
	入学者数	94	82	91	67	49
	充足率	1.18	1.03	1.01	0.74	0.54
	収容定員	320	320	330	340	350
	在籍者数	396	376	372	345	304
	充足率	1.24	1.18	1.13	1.01	0.87
文学部 日本語・日本 文学科	入学定員	80	80	90	90	90
	志願者数	373	299	327	193	210
	合格者数	306	229	296	176	194
	入学者数	119	90	89	63	68
	充足率	1.49	1.13	0.99	0.70	0.76
	収容定員	320	320	330	340	350
	在籍者数	403	399	403	375	314
	充足率	1.26	1.25	1.22	1.10	0.90
文学部 文化総合学科	入学定員	80	80	90	90	90
	志願者数	376	318	298	182	209
	合格者数	222	190	222	150	179
	入学者数	93	90	83	68	83
	充足率	1.16	1.13	0.92	0.76	0.92
	収容定員	320	320	330	340	350
	在籍者数	396	394	369	332	323
	充足率	1.24	1.23	1.12	0.98	0.92
文学部入学定員充足率		1.28	1.09	0.97	0.73	0.74
文学部在籍定員充足率		1.24	1.22	1.16	1.03	0.90

目 次

(1) 収容定員を変更する組織の概要	1
①収容定員を変更する組織の概要	1
②収容定員を変更する組織の特色	1
(2) 人材需要の社会的な動向等	2
①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析	2
②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	3
③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域	3
④既設組織の定員充足の状況	4
(3) 学生確保の見通し	5
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	5
ア 既設組織における取組とその目標	5
イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標	5
ウ 当該取組の実績の分析に基づく、収容定員を変更する組織の入学者の見込み数	6
②競合校の状況分析	6
ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性	6
イ 競合校の入学志願動向等	7
ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等	7
エ 学生納付金等の金額設定の理由	7
③先行事例分析	7
④学生確保に関するアンケート調査	7
(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由	8

(1) 収容定員を変更する組織の概要

①収容定員を変更する組織の概要（名称、入学定員（編入学定員）、収容定員、所在地）

名称	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地
藤女子大学 文学部				北海道札幌市北区北 16条西2丁目1-1
英語文化学科	80名	-	320名	
日本語・日本文学科	80名	-	320名	
文化総合学科	80名	-	320名	

②収容定員を変更する組織の特色

藤女子大学は、キリスト教的世界観や人間観を土台として、女性の全人的高等教育を通して、広く人類社会に対する愛と奉仕に生きる高い知性と豊かな人間性を備えた女性の育成を使命としており、昭和36（1961）年4月の開設以来、北海道における女子教育の一翼を担ってきた。北16条キャンパス（札幌市）には文学部3学科、花川キャンパス（石狩市）には人間生活学部3学科を設置し、これまでも社会の多様な場で活躍する多くの人材を輩出している。また、令和6（2024）年4月より、学校法人天使学園との法人統合により学校法人藤天使学園となり、「愛をとおして真理へ」という建学の精神のとおり、カトリック精神を通じて神によって与えられた一人ひとりのいのちの尊厳を大切にすることを基盤とし、神から愛されている存在として自分を受け入れ、自分に刻まれた良心に従って正しく生き、周りの人への愛に努め、さらに世界の人々の平和と幸せのために尽くす心を育てること、具体的で身近な愛の実践をとおして、より高い真理に到達することを目指している。

文学部英語文化学科は、国際言語としての英語の運用能力を高めつつ、英語圏の言語文化の社会的・歴史的諸相についての知見を養い、母語を含め、広く言語文化への関心と理解を深めていくことを目指す。その成果をもって、国際社会および地域社会の一員として他と協働し、健全な批判力と構想力をもって、自らを的確に表現することのできる女性を育てることを目的とする。

日本語・日本文学科は、日本語学、古典から近現代までの日本文学、日本文化を入門から専門性への段階を踏んだカリキュラムに従い探究し、最終的に卒業研究（論文）を書くことを課している。そこに至るまでに思考力を高め、柔軟にして鋭いものの見方ができる女性を育成する。その結果自立した有能な人間として社会に貢献できる人材を送り出すことが目的である。

文化総合学科は、人間の歴史や思想をふまえて、現代の社会と文化を地球規模で多面的に学び、今日の社会の諸問題に対して柔軟でバランスのとれた対応ができる人材の育成を目的とする。そのために、人文・社会科学に関わる学問分野を基礎から学び、専門分野を絞り込みながら、最終的に卒業研究（論文）を執筆することを課している。

(2) 人材需要の社会的な動向等

①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

藤女子大学は、カトリック札幌教区初代教区長ヴェンセスラウス・キノルド司教が、「北海道の未来は女子教育にある」との確信から母国ドイツに女子教育の真の担い手になる人材の派遣を要請し、この要望に応じて殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会から三人の修道女が来道したことに由来する。この意思を継ぎ、キリスト教的世界観や人間観を土台として、女性の全人的高等教育を通して、広く人類社会に対する愛と奉仕に生きる高い知性と豊かな人間性を備えた女性の育成を社会的使命として、長く北海道唯一の4年制女子大学として、その期待に応じてきた（令和6年度より北海道の女子大学は2校となった）。

英語文化学科は、大学設置以来、文学部の中核を担ってきた学科で、英語力や英語力を活かした専門的知識を身につけ、女性が社会で活躍するキャリアを築いていくことができる教育を提供している。授業や留学等で身に付けた英語力を生かした職種に留まらず、特定の業界に偏らない幅広い業種での需要があり、中学校や高等学校で活躍する英語教員や、北海道大学大学院へ進学し更に学びを深める卒業生もいる。

日本語・日本文学科も大学設置当初から開設されており、古典から現代までの充実した講義・演習を開講し、歴史・社会・文化・地域といった諸分野をも視野に入れ、日本語と日本文学の広くて深い探求が行える教育を提供している。教育職員免許では、国語科の教員採用率が高く、多くの卒業生が北海道の教育を支えている。北海道の私立大学では唯一、高校教諭「書道」の養成課程を有している。文学部3学科の中では公務員志望の傾向が高く、中学校や高等学校の教員となる卒業生も多い。北海道大学大学院への進学者もいる。

文化総合学科は平成12（2000）年度に開設し、現代の社会と文化を地球規模で多面的に学び、今日の社会の諸問題に対して柔軟でバランスのとれた対応ができる人材の育成を行っている。入学時には興味のある学問分野や将来像を明確に絞り切れていなかった学生も様々な学問を横断的に学ぶことで卒業時には社会に貢献できる人材として輩出している。幅広い分野の学びを通して専門性を探求していく文化総合学科は、在学中に興味・関心が変化することも多く、就職先も多岐に渡る。学科の学びの特性から外国や国際社会への興味を持つ学生も多く、留学を経て英語力を活かした航空業界等に進む卒業生もいる。

図書館情報学課程は全学生が選択できる課程であり、司書関連の授業を通して得た情報管理の知識が、就職活動時に情報通信業界への関心、採用につながるケースも見られる。

また、平成24（2012）年度から開設している「女性とキャリアⅠ」（1年生必修科目）は、学生が卒業後を見据え、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度等を見つけていくことを目標とし、令和元（2019）年度からは2年時選択科目で「女性とキャリアⅡ」を開講し、自己理解を深め、目指す進路の方向性を見出すための各種グループワークなどを通じて、成長につながる学生生活を送る意欲の向上とより良く他者と関わ

る社会性の涵養を目指している。

数理・データサイエンス・AI教育プログラムのリテラシーレベルを想定したデータサイエンスに関する科目の開講も行い、将来の就職を見据えた技能を身に付ける機会を設けている。

令和 5(2023)年度には内閣総理大臣補佐官が本学を視察し、本学の就職活動の状況について意見交換を行った際には、補佐官より、千歳市に進出する半導体企業などでも文系学部学生の需要があるので文系の人材育成も必要であるとのこと意見をいただいた。

②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

18歳人口は令和6(2025)年においては109万人、10年後の2035年には96万人に減少するという将来推計が出されている。女性に特化してみると、令和6(2025)年においては53万人、令和16(2035)年には47万人に減少する【資料1】。

北海道における進学率は、平成19(2007)年36%から15年後の令和4(2022)年には49%に上昇している【資料2】。また、全国的に比べ道内の女性の進学率が低いが、地方の高校は周囲に進学する生徒が少ないため【資料3】、大学の情報が行き届いていない場合もあり、高校訪問により生徒が大学進学に興味を持ち、実際に受験、入学するケースがある。また、若者の道外への流出も多いため、本学の所在地である札幌市でも18歳人口の道外流出については懸念があり、若者が住みよい環境と活動を提供できるようにと、札幌市と本学を含む札幌市内大学によるプラットフォーム構築に向けて検討を開始した【資料4】。

定年を迎えた社会人の入学してくるケースがみられる。令和2(2020)年に65歳以上の人口が28.6%、令和21(2040)年には34.8%となる予測がある【資料5】。本学の同窓生からは、教養としての文学を学びたいなどの意見もあり、家庭に入って一段落した女性や定年退職者に学び直しの機会を提供するなど、社会人入試に力を入れる。さらに、また40代以上の本学短期大学卒業生が編入できる制度を設けることや社会人が入学しやすい入試方法について検討中である。本学には海外留学生の入試制度は設けているものの入学者がいないが、全国的に日本語学校の生徒が増加傾向にある。令和7(2025)年度入試から応募条件の日本語検定レベルをN1からN2に下げ、出願しやすくした。留学生向けの日本語科目を開設しており、入学後の語学の補習も行える状況にある。

③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

別紙1に示した通り、北海道に所在のある大学の89.1%が地元北海道の高校出身であり、本学では入学者の約96%を占める。数十の他都府県からも入学実績はあるが、本学は道外の受験者獲得に向けた広報活動を積極的に行ってこなかった。近年の若者のSNSの利用が増えていることもあり、10代をターゲットとしたネット広告などを行い全国からの受験者を獲得したい。社会人については、同窓会を通じての広報活動を行う予定である。

④既設組織の定員充足の状況

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）は別紙2-1～3の通りである。

文学部においては、令和6（2024）年度入学者数は、英語文化学科49名（定員充足率54.4%）、日本語・日本文学科68名（同75.6%）文化総合学科83名（同92.2%）であり、令和5（2023）年度からの大幅な定員未充足を受け、今回の入学定員減の届出となっている。

英語文化学科については、コロナ禍において、海外留学が十分に行えなかったことが影響したが、昨年度より協定校への短期・長期の海外留学を再開しており、留学希望の学生が戻ってくることを期待している。

（2024年5月1日現在の収容定員が0.7倍未満の学科等がある場合）

人間生活学部では、2024年4月26日現在、人間生活学科27名（同54%）、食物栄養学科47名（同58.8%）、子ども教育学科64名（同80%）であり、学科毎の収容定員充足率はそれぞれ68%、69.4%、87.5%、学部の収容定員充足率は76.1%である。

人間生活学科と食物栄養学科は家政分野の学科であり、近年全国的に家政分野の志願者数が減少している。人間生活学科においては、道内に競合相手となる学部・学科がないため、ニッチであるとともに高校生に進路選択として意識されにくい。高校の授業での家庭科の位置づけが低いのも家政分野離れの要因になっている可能性がある。社会のニーズに合わせた現代家政学を教育の中心に据え、人間生活学科ではプロジェクトマネジメントの手法を学び、家政学の知識を活かしながら地域や企業との連携の中で課題解決する能力を養い、社会で活躍できる人材育成を行っている。また、道内で家庭科教員を養成する私立大学は本学だけとなっている。

食物栄養学科においては、北海道内の管理栄養士養成学校が増え、入学定員を満たす大学が減っている状況である。食物栄養学科は産学官連携による商品開発・研究を行い、学生の学びの幅を広げており、栄養士としての職業以外にも一般企業へ就職する卒業生も多い。

子ども教育学科は、近年の教育職員離れの影響を受けている。道内の教員養成を行っている北海道教育大学の追加合格者の煽りを受けている状況である。しかしながら、道内において保幼小連携並びに特別支援を学べる本学は希少である。

コロナ禍の数年、オープンキャンパス等の大学施設見学の機会の減少や高校訪問に注力できなかったこともあり、入学者の獲得が厳しい状況になったことは否めない。しかしながら、昨年度より全道の高校訪問を再開し、進路指導の教諭に本学の教育について説明を継続しているところである。さらに、もともとQOLを探究しWell-beingに関連した授業を行ってきたことから、令和7（2025）年度より名称を「ウェルビーイング学部」と変更予定であり、教育内容がより伝わりやすくなるように「人間生活学科」を「地域創生学科」、

「食物栄養学科」を「食環境マネジメント学科」（「子ども教育学科」は変更しない）として名称変更予定である。

こうした取り組みや学びについて広報を強化し、入学者数減少に歯止めをかけたいと考えている。

（3）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績は別紙3の通りである。

学生募集の担当は入試課である。年間を通じ入試課職員による主に北海道内の高校訪問の実施、高校や学外で行われる進学相談会への出展により募集活動を行っている。今年度は90校を訪問予定である。推薦入試や総合型入試を受験した生徒の高校を再訪問し、状況を伝えるなど高校への情報提供も行っている。進学相談会は、入試課以外の教職員も参加し、オープンキャンパスは、教職員全体で取り組んでいる。オープンキャンパスは事前登録を行っているが、当日参加も可能にしている。オープンキャンパスでは、学生にも参加してもらい、受付、受験生案内、大学での学生生活や学修状況などのプレゼンをしてもらうなど、身近な先輩として受験生にアドバイスや体験を語ってもらう機会を設けている。オープンキャンパスに参加した受験生へのアンケート満足度は高く、そのまま受験へ繋がる影響力は高い。学部でキャンパスが2か所に分かれており、開催日が学部別になっているが、どちらのキャンパスでももう一方の学部の情報を知る機会を設けている。参加者を2倍もしくはそれ以上に増やすことで受験者・入学者を増やすのは期待できるが、参加者はコロナ禍前より減ってきていたので、参加者を増やす工夫としてWeb広告などの利用を検討中である。

文学部では「授業ライブ」として通常の授業の公開も行っている。受験生が大学に来て受けてみたい授業を受講できるが、平日になるため、参加者は多くない。教員の出前授業も積極的に行っていて出前授業を受けて藤女子大学を選んだという学生の声も届いている。今後も取り組みを継続し、出前授業の広報も強化していく。

このほかの大学のPRとして、大学案内の制作・配付、大学広報誌「広報 藤」の発行・活用、「教職課程ニュース」の発行、卒業生の現役教員への配付、オープンキャンパス等大学行事参加の受験生へのクリスマスカード発送、地下鉄などの交通広告（デジタルサイネージ、壁面広告、音声広告等）、大学公式ホームページの改良やプレスリリースの強化を行っている。

イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標

収容定員を変更する組織における学生募集のための PR 活動については(3)①アの内容と同じであり、入学定員確保を目標として、取り組み内容を着実にこなしてゆく。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

オープンキャンパスの効果が入学に結び付くことからオープンキャンパスへの参加者の約3割強の入学者数が見込まれるので、数字上では現状の1.5倍を目標に参加者を見込むと定員確保の可能性がある(資料別紙3)。

②競合校の状況分析(立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況)

ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性

学校種が四年制の大学、定員規模が近い、所在地が北海道、学問分野が類似しているの4点から競合校を選定した。他大学はいずれも男女共学であり、受験生の志向が男女共学校を選択するか女子校を選択するかにより、大学を選択している向きがある。

本学は札幌駅から徒歩でも通える距離にあり、市営地下鉄の複数路線が利用可能で、地下鉄駅直結の北海学園大学はあるが、立地面ではいずれの大学にも劣っていないと感がある。校舎などの規模は他大学に比べコンパクトであるが、外に出ることなく校舎内で移動が可能である。

学費については、初年度納付金は他大学より約15万円少なく、4年間の学費についても他大学と比べて安く設定している。

イ 競合校の入学志願動向等

英語文化学科は、同じ札幌市内の2校、道内1校で比較する。カリキュラムの内容が近く、言語学、文学、英語コミュニケーションを中心とした学科である。札幌市内の2校は定員をほぼ充足しているが、本学が未充足の状況である。もう1校は札幌近郊に所在地があり定員未充足の状況であるが、入試方法を拡大し、年々入学者数が増加してきている。本学が優位とまでは言い切れず、定員未充足が続く可能性は否めない。本学の教育内容は維持しつつ、英語力向上と海外留学を提供するプログラムの実施など卒業後即戦力となる人材育成を行いつつ、入学定員の減員を行う。

日本語・日本文学科は同じ札幌市内の1校と比較する。日本文学系は道内私立大学では競合する学科が少ない分野である。本学では、古代から現代にいたる全時代をカバーする専任教員を備え教育に当たっており、読書、文学好きな受験者の志望先として、開設以来受験者を安定して確保していたが、道内文系の国立大学と併願で受験している学生が多いので、歩留まり率がよくない。一方の比較大学も同様であるが、定員を充足している。本学では高校書道の教員免許が取得可能なため、札幌が所在地の大学に通学し

たい学生は本学を選択する可能性が高い。しかしながら、定員に占める割合としては多くなく、入学定員の減員を行うことで適正な定員を目指したい。

文化総合学科は、人文社会系の中で、歴史、哲学思想、異文化コミュニケーションなどの幅広いジャンルが対象となるため、一部に共通点がある大学を選定している。札幌市内 1 校、札幌近郊 1 校となっている。本学のように社会・公民、地理・歴史の教員免許をすべて取得できる大学は少ないので、教職につきたい人にとっては選択する可能性が高いが、進路として教員を希望する学生が減ってきている。本学の異文化コミュニケーション分野は本学でも人気があり語学力にも力を入れており、教育内容は充実している。日本史の分野についても専門的に深く学べるカリキュラムとなっており、興味のある学生の獲得は可能と思われる。

ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）
該当なし。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

授業料等の学生納付金の設定金額については、20**に見直しを行っており、今回変更の予定はなく、北海道内の大学の中でも比較的安価な設定となっている。

③ 先行事例分析

既設組織を廃止して新設組織を設置する場合ではないため、該当なし。

④ 学生確保に関するアンケート調査

既設組織に変更がないため、アンケートは実施していない。

⑤ 人材需要に関するアンケート調査等

大学公式ホームページ「就職・キャリア支援」に本学の就職状況について掲載している。就職率は約 95%であり、学内企業セミナーを開催し、参加企業と就職希望者が話をする機会を設けているほか、キャリア支援担当職員と企業と情報交換する機会ともなっている。

(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由

このたびの文学部の入学定員の減員は、全国的な 18 歳人口の減少、北海道内の若者の道外流出の影響ならびに、全国的な女子大学離れ、理系大学入学推奨の流れの影響を受けたことによる入学者減少によるものである。収入源となる学納金収入の見込みも踏まえ、入学広報等の強化を行い、収容定員を各学科 360 名から 320 名に減員することで充足率 1.0 を目指して入学者数を復活させたいと考える。

08_学生の確保の見通し等を記載した書類 資料

【資料1】 18歳人口（男女別）の将来推計

【資料2】 都道府県別大学（学部等）進学率の変化（過年度卒業生等を含む）

【資料3】 男女別・都道府県別4年制大学進学率

【資料4】 2040年の各都道府県進学者等推計（2021年度基準）

【資料5】 人口の推移と将来推計

【資料6】 北海道内の同系分野を持つ大学の定員充足状況（人文科学系）

【資料7】 競合校の入試時期、学納金

【別紙1】 収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況

【別紙2-1】 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）：文学部英語文化学科

【別紙2-2】 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）：文学部日本語・日本文学科

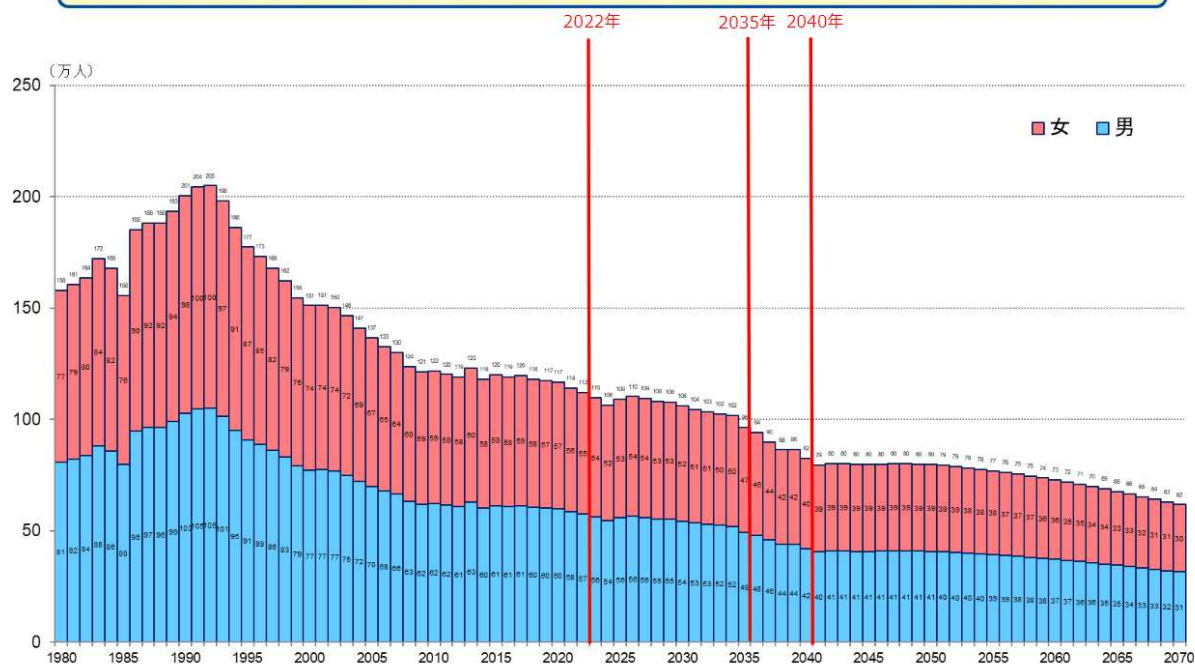
【別紙2-3】 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）：文学部文化総合学科

【別紙3】 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

【資料1】

18歳人口(男女別)の将来推計

我が国の18歳人口の推移を見ると、2005年には約137万人であったものが、現在は約112万人まで減少している。今後、2035年には初めて100万人を割って約96万人となり、さらに2040年には約82万人にまで減少するという推計もある。



(出典) 2022年以前は文部科学省「学校基本統計」、
2023年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)(出生中位・死亡中位)」を元に作成

【資料 2】

都道府県別大学(学部)進学率の変化(過年度卒業生等を含む)

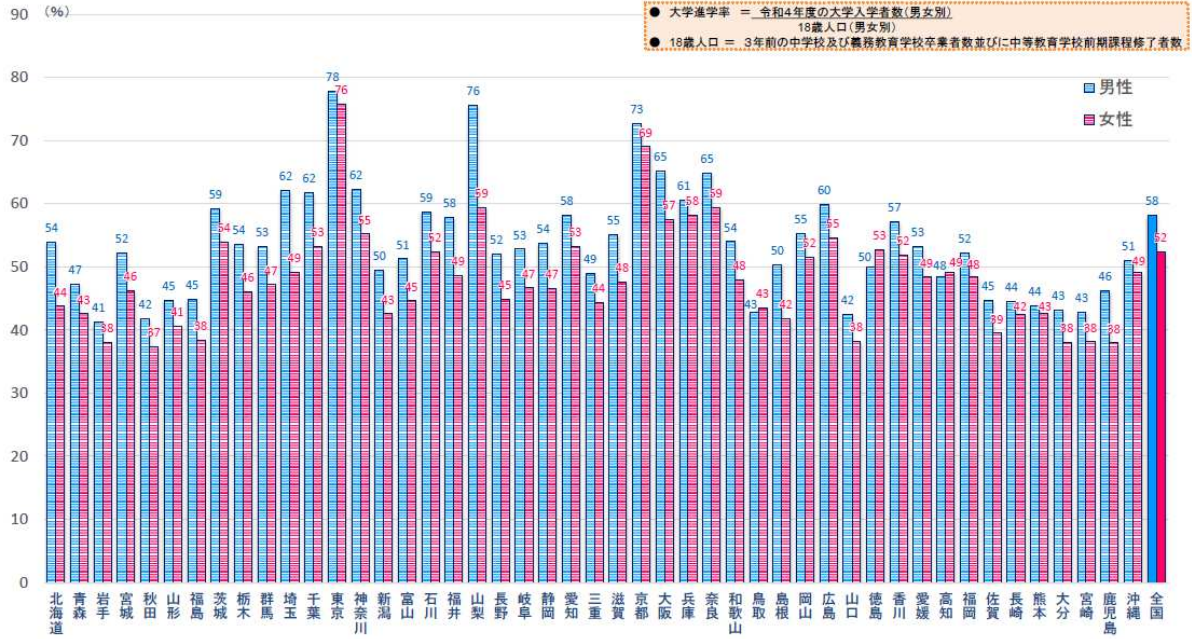
都道府県別の過年度卒業生等も含む大学(学部)進学率は、地域によって差があるが、2007年と比較すると全体的に上昇している。



【資料3】

男女別・都道府県別4年制大学進学率

大学進学率を男女別にみると、鳥取県、徳島県、高知県を除く44都道府県で男性の方が女性よりも高く、男女の進学率の差は①山梨県（16.1ポイント）、②埼玉県（13.0ポイント）、③北海道（10.1ポイント）、④福井県（9.3ポイント）の順に高い。



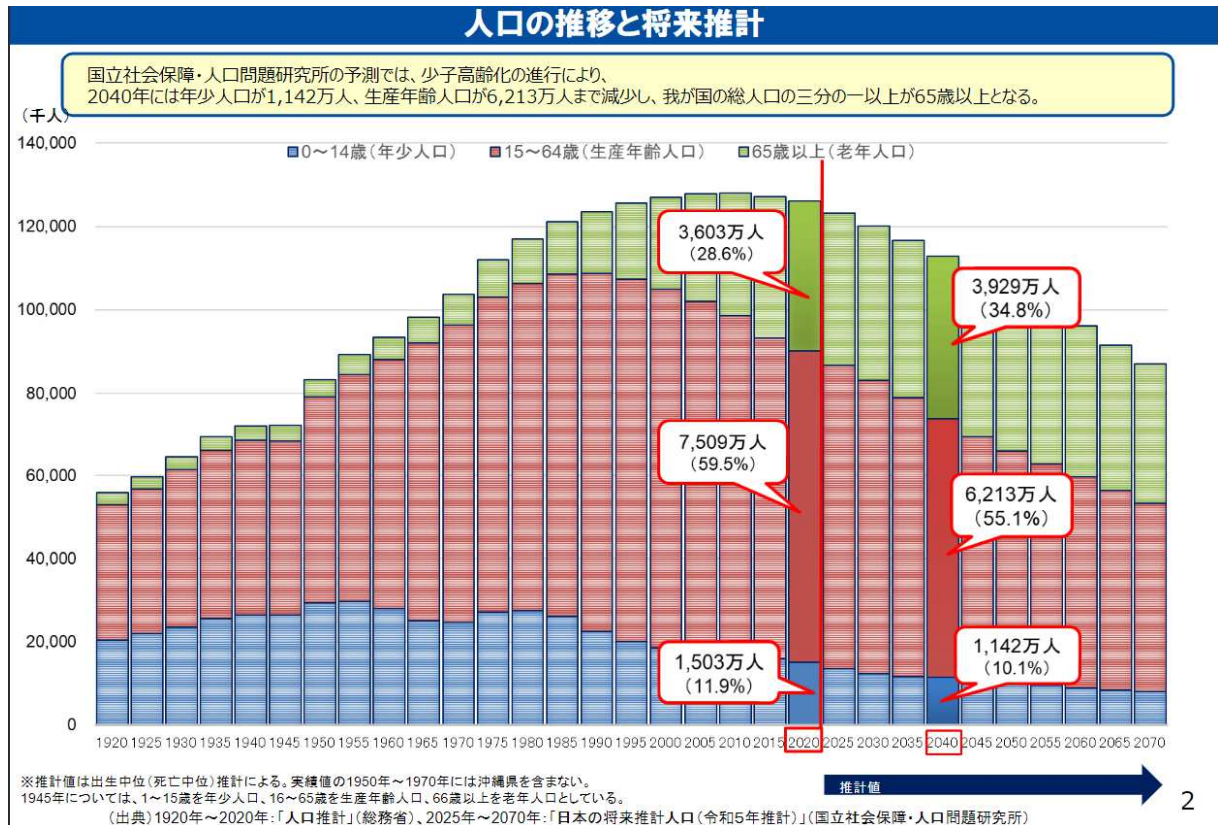
(出典)文部科学省「令和4年度学校基本統計」

【資料4】

(参考) 2040年の各都道府県進学者数等推計(2021年基準)①

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
18歳人口【2021】	45,007	11,830	11,379	20,998	8,171	10,269	17,622	27,454	18,417	18,806	64,508	54,908
高校等卒業生数【2021】	40,596	11,056	10,585	19,412	7,586	9,555	16,130	25,234	17,183	16,849	56,216	49,294
大学進学者数【2021】	21,039	4,975	4,460	9,982	3,345	4,097	7,215	14,797	9,063	8,971	35,056	30,362
大学進学率【2021】	46.7%	42.1%	39.2%	47.5%	40.9%	39.9%	40.9%	53.9%	49.2%	47.7%	54.3%	55.3%
大学進学率(国公私別)【2021】	10.0% 3.4% 33.4%	12.0% 5.1% 26.0%	11.2% 5.4% 22.0%	9.3% 2.6% 35.6%	14.4% 4.4% 22.2%	11.0% 2.7% 30.2%	7.6% 3.2% 30.1%	9.5% 2.1% 43.3%	8.5% 2.9% 38.8%	7.9% 3.7% 38.0%	4.2% 3.6% 49.3%	4.3% 3.6% 58.4%
短大進学率【2021】	4.1%	4.8%	4.2%	4.6%	5.9%	4.7%	5.0%	2.7%	4.0%	4.2%	3.5%	3.1%
専門学校進学率(現役)【2021】	20.8%	14.8%	17.8%	16.2%	16.5%	18.1%	15.6%	17.2%	16.9%	15.5%	16.1%	17.6%
大学数【2021】	37	10	6	14	7	6	8	10	9	15	27	27
大学数(国公私別)【2021】	7 6 24	1 2 7	1 1 4	2 1 11	1 3 3	1 2 3	1 2 5	3 1 6	1 0 8	1 4 10	1 1 25	1 1 25
入学定員【2021】	18,806	3,363	2,509	11,511	2,090	2,766	3,579	6,461	4,668	5,785	28,855	25,751
入学定員(国公私別)【2021】	5,000 1,345 11,861	1,322 518 1,825	1,030 440 1,039	2,722 420 8,369	955 885 470	1,863 145 858	945 599 2,035	3,700 170 2,531	910 0 3,758	1,098 1,482 3,205	1,535 395 28,925	2,592 180 22,979
大学入学者数【2021】	19,119	3,407	2,544	11,713	2,075	2,792	3,451	6,697	4,823	5,983	28,847	27,402
(国公私別)【2021】	5,756 1,434 11,929	1,371 549 1,487	1,068 473 1,003	2,779 453 8,481	955 894 398	1,890 148 954	901 605 1,855	3,829 171 2,697	929 0 3,894	1,142 1,551 3,290	1,598 409 28,843	2,835 180 24,587
県外から流入【2021】	4,954	1,363	1,281	6,061	1,194	1,868	1,822	3,727	2,639	3,249	18,497	17,051
県内から流出【2021】	6,874	2,931	3,197	4,330	2,464	3,173	5,586	11,827	6,879	6,237	24,706	20,011
流出入差(流入-流出)【2021】	-1,921	-1,568	-1,916	1,731	-1,270	-1,305	-3,764	-8,101	-4,240	-2,988	-6,209	-2,961
自県進学率【2021】	67.3%	41.1%	28.3%	56.6%	26.3%	22.6%	22.6%	20.1%	24.1%	30.5%	29.5%	34.1%
18歳人口推計【2040】	28,500	6,466	6,434	13,971	4,306	5,967	10,142	17,097	11,623	11,517	46,401	39,801
大学進学者数推計【2040】	16,213	2,905	2,719	7,090	1,996	2,522	4,661	10,443	5,943	5,833	27,982	24,374
大学進学率推計【2040】	56.9%	44.9%	42.3%	50.7%	46.3%	42.3%	46.0%	61.1%	51.1%	50.7%	60.3%	61.2%
大学入学者数推計【2040】	15,553	2,772	2,070	9,529	1,688	2,271	2,807	5,448	3,924	4,867	23,468	22,292
(国公私別)【2040】	4,683 1,167 9,704	1,116 447 1,210	869 385 816	2,261 369 8,899	801 665 322	1,375 120 776	806 492 1,509	3,116 139 2,194	756 0 3,168	929 1,262 2,676	1,300 330 21,837	2,144 146 20,002
入学定員充足率推計【2040】	82.7%	82.4%	82.5%	82.8%	80.8%	82.1%	78.4%	84.3%	84.1%	84.1%	81.3%	86.6%
(国公私別)【2040】	83.6% 86.7% 81.8%	84.4% 86.6% 79.3%	84.4% 87.5% 76.5%	83.1% 87.7% 82.4%	83.9% 84.9% 88.5%	82.7% 83.0% 81.0%	86.3% 82.2% 74.2%	82.8% 81.8% 86.7%	83.1% - 84.3%	84.6% 85.1% 83.5%	84.7% 83.6% 81.1%	82.7% 81.4% 87.0%

【資料5】



【資料6】北海道内の同系分野を持つ大学の定員充足状況(人文科学系)

		志願者数			受験者数			合格者数			入学者数			定員充足率		
		R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
藤女子大学	文学部英語文化学科	297	303	209	292	297	204	216	231	185	82	91	67	1.02	1.01	0.74
北海学園大学	人文学部英米文化学科	399	480	391	396	478	388	235	307	290	99	101	110	1.04	1.16	1.63
北星学園大学	文学部英文学科	473	440	346	469	438	343	193	199	185	129	117	135	0.98	0.89	1.03
北海道文教大学	国際教養学部国際教養学科	88	79	66	88	79	66	75	79	66	18	14	28	0.36	0.28	0.56

		志願者数			受験者数			合格者数			入学者数			定員充足率		
		R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
藤女子大学	文学部日本語・日本文学科	309	316	193	306	313	188	237	286	176	90	89	63	1.12	0.99	0.70
北海学園大学	人文学部日本文化学科	396	526	332	391	521	325	213	237	232	99	113	109	0.99	1.13	1.09

		志願者数			受験者数			合格者数			入学者数			定員充足率		
		R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
藤女子大学	文学部文化総合学科	329	294	184	322	291	176	202	223	153	90	83	68	1.12	0.92	0.76
北海学園大学	人文学部日本文化学科	396	526	332	391	521	325	213	237	232	99	113	109	0.99	1.13	1.09
北海道文教大学	国際教養学部国際コミュニケーション学科	111	90	90	111	89	90	96	89	90	37	34	46	0.74	0.68	0.92

【資料7】競合校の入試時期、学納金

大学名	所在地	入試時期(一般)※	入学金	授業料	その他	初年度納付金
北星学園大学	札幌市厚別区	2/8、2/9	300,000円	780,000円	125,010円	1,205,010円
北海学園大学	札幌市豊平区	2/9・2/12	200,000円	872,000円	82,000円	1,228,000円
北海道文教大学	恵庭市	2/2・2/3	200,000円	810,000円	384,160円	1,214,160円
藤女子大学	札幌市北区	2/13	210,000円	706,000円	170,000円	1,067,500円

※入試時期は年度により変更することがあるが、おおよその時期。

2022年度卒業生（2023年3月卒業）

卒業後の進路状況・結果（2023年5月1日現在）

		卒業生数	進学者数	就職 希望者数	就職 決定者数	就職率
文学部	英語文化学科	90	4	79	77	97.5%
	日本語・日本文学科	86	0	81	77	95.1%
	文化総合学科	98	2	88	84	95.5%
	学部計	274	6	248	238	96.0%
人間生活学部	人間生活学科	55	3	52	49	94.2%
	食物栄養学科	75	2	73	69	94.5%
	保育学科	68	2	63	62	98.4%
	学部計	198	7	188	180	95.7%
合計		472	13	436	418	95.9%

※就職率 = 就職決定者数 ÷ 就職希望者数

就職先内訳

		就職先内訳							
		企業等		専門職 (福祉・栄養・保育)		教員		公務員 ※1	
		希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数
文学部	英語文化学科	76	74	-	-	0	0	3	3
	日本語・日本文学科	66	64	-	-	10	10	5	3
	文化総合学科	76	74	-	-	7	6	5	4
	学部計	218	212	-	-	17	16	13	10
人間生活学部	人間生活学科	32	29	11	11	7	7	2	2
	食物栄養学科	28	27	34	33	2	2	9	7
	保育学科	6	6	21	21	20	20	16	15
	学部計	66	62	66	65	29	29	27	24
合計		284	274	66	65	46	45	40	34

※1：公立図書館の職員を含む。

収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	北海道	12,148人	89.1%
2	東京都	561人	4.1%
3	青森県	360人	2.6%
4	神奈川県	307人	2.3%
5	岩手県	262人	1.9%
	全 体	13,638人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○収容定員を変更する組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	収容定員を変更する組織所在地（都道府県）	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	北海道	100.54%	102.19%	98.54%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○収容定員を変更する組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	人文科学系	99.30%	98.93%	96.28%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：文学部英語文化学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		2019	2020	2021	2022	2023	平均	
		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者		
総合型選抜	募集人数					5人	5人	
	延べ人数	志願者数					7人	7人
		受験者数					7人	7人
		合格者数					7人	7人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					7人	7人
		受験者数					7人	7人
		合格者数					7人	7人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数					7人	7人	
	学校推薦型選抜	募集人数	28人	28人	28人	33人	33人	30人
延べ人数		志願者数	42人	43人	30人	27人	20人	32人
		受験者数	42人	43人	30人	27人	20人	32人
		合格者数	33人	32人	29人	27人	20人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	42人	43人	30人	27人	20人	32人
		受験者数	42人	43人	30人	27人	20人	32人
		合格者数	33人	32人	29人	27人	20人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		33人	32人	29人	27人	20人	28人	
一般選抜		募集人数	44人	44人	44人	48人	44人	45人
	延べ人数	志願者数	211人	239人	175人	190人	126人	188人
		受験者数	208人	233人	170人	184人	121人	183人
		合格者数	132人	144人	141人	164人	119人	140人
		うち追加合格者数	10人	16人	0人	5人	3人	7人
		辞退者数	15人	13人	11人	7人	6人	10人
	実人数	志願者数	211人	239人	175人	190人	126人	188人
		受験者数	208人	233人	170人	184人	121人	183人
		合格者数	132人	144人	141人	164人	119人	140人
		うち追加合格者数	10人	16人	0人	5人	3人	7人
		辞退者数	15人	13人	11人	7人	6人	10人
	入学者数	54人	53人	51人	62人	37人	51人	
	共通テスト利用入試	募集人数	8人	8人	8人	9人	8人	8人
延べ人数		志願者数	97人	147人	92人	86人	56人	96人
		受験者数	97人	147人	92人	86人	56人	96人
		合格者数	59人	58人	46人	45人	39人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	7人	1人	1人	4人	5人
実人数		志願者数	97人	147人	92人	86人	56人	96人
		受験者数	97人	147人	92人	86人	56人	96人
		合格者数	59人	58人	46人	45人	39人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	7人	1人	1人	4人	5人
入学者数		9人	8人	2人	2人	3人	5人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	若干名	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数		1人				1人
		受験者数		1人				1人
		合格者数		1人				1人
		うち追加合格者数		0人				0人
		辞退者数		0人				0人
	実人数	志願者数		1人				1人
		受験者数		1人				1人
		合格者数		1人				1人
		うち追加合格者数		0人				0人
		辞退者数		0人				0人
	入学者数		1人			0人	1人	
	合計	募集人数	80人	80人	80人	90人	90人	84人
延べ人数		志願者数	350人	430人	297人	303人	209人	318人
		受験者数	347人	424人	292人	297人	204人	313人
		合格者数	224人	235人	216人	236人	185人	219人
		うち追加合格者数	10人	16人	0人	5人	3人	7人
		辞退者数	25人	20人	12人	8人	10人	15人
実人数		志願者数	350人	430人	297人	303人	209人	318人
		受験者数	347人	424人	292人	297人	204人	313人
		合格者数	224人	235人	216人	236人	185人	219人
		うち追加合格者数	10人	16人	0人	5人	3人	7人
		辞退者数	25人	20人	12人	8人	10人	15人
入学者数		96人	94人	82人	91人	67人	86人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	90人	90人	84
入学定員充足率	1.20	1.18	1.03	1.01	0.74	1.03
歩留率	0.43	0.40	0.38	0.39	0.36	0.39

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 総合型入試はR5年度入試から実施。
 R2年その他の特別選抜は、海外帰国生特別入学試験。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：文学部日本語・日本文学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数					5人	5人	
	延べ人数	志願者数					20人	20人
		受験者数					20人	20人
		合格者数					20人	20人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					20人	20人
		受験者数					20人	20人
		合格者数					20人	20人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
入学者数					20人	20人		
学校推薦型選抜	募集人数	23人	23人	23人	25人	25人	24人	
	延べ人数	志願者数	17人	30人	30人	20人	11人	22人
		受験者数	17人	30人	30人	20人	11人	22人
		合格者数	17人	27人	28人	20人	11人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	17人	30人	30人	20人	11人	22人
		受験者数	17人	30人	30人	20人	11人	22人
		合格者数	17人	27人	28人	20人	11人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数	17人	27人	28人	20人	11人	21人		
一般選抜	募集人数	44人	44人	44人	49人	46人	45人	
	延べ人数	志願者数	179人	178人	155人	156人	68人	147人
		受験者数	175人	175人	152人	153人	63人	144人
		合格者数	149人	147人	120人	142人	62人	124人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	11人	8人	9人	6人	6人	8人
	実人数	志願者数	179人	178人	155人	156人	68人	147人
		受験者数	175人	175人	152人	153人	63人	144人
		合格者数	149人	147人	120人	128人	62人	121人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	11人	8人	9人	6人	6人	8人
入学者数	72人	76人	55人	60人	29人	58人		
共通テスト利用入試	募集人数	13人	13人	13人	16人	14人	14人	
	延べ人数	志願者数	135人	165人	124人	140人	94人	132人
		受験者数	135人	165人	124人	140人	94人	132人
		合格者数	119人	132人	89人	124人	83人	109人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	8人	7人	7人	6人	8人
	実人数	志願者数	135人	165人	124人	140人	94人	132人
		受験者数	135人	165人	124人	140人	94人	132人
		合格者数	119人	132人	89人	124人	83人	109人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	8人	7人	7人	6人	8人
入学者数	10人	16人	7人	9人	3人	9人		
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数						#DIV/0!		
合計	募集人数	80人	80人	80人	90人	90人	84人	
	延べ人数	志願者数	331人	373人	309人	316人	193人	304人
		受験者数	327人	370人	306人	313人	188人	301人
		合格者数	285人	306人	237人	286人	176人	258人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	23人	16人	16人	13人	12人	16人
	実人数	志願者数	331人	373人	309人	316人	193人	304人
		受験者数	327人	370人	306人	313人	188人	301人
		合格者数	285人	306人	237人	272人	176人	255人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		辞退者数	23人	16人	16人	13人	12人	16人
入学者数	99人	119人	90人	89人	63人	92人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	90人	90人	84
入学定員充足率	1.24	1.49	1.13	0.99	0.70	1.11
歩留率	0.35	0.39	0.38	0.31	0.36	0.36

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 総合型入試はR5年度入試から実施。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：文学部文化総合学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数					8人	8人	
	延べ人数	志願者数					16人	16人
		受験者数					16人	16人
		合格者数					14人	14人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					16人	16人
		受験者数					16人	16人
		合格者数					14人	14人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	入学者数					14人	14人	
	学校推薦型選抜	募集人数	36人	36人	36人	41人	41人	38人
延べ人数		志願者数	46人	33人	40人	29人	17人	33人
		受験者数	46人	33人	40人	29人	17人	33人
		合格者数	38人	31人	40人	28人	17人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	46人	33人	40人	29人	17人	33人
		受験者数	46人	33人	40人	29人	17人	33人
		合格者数	38人	31人	40人	28人	17人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		38人	31人	40人	28人	17人	31人	
一般選抜		募集人数	36人	36人	36人	40人	33人	36人
	延べ人数	志願者数	216人	254人	198人	179人	100人	189人
		受験者数	207人	250人	191人	176人	92人	183人
		合格者数	120人	146人	119人	148人	87人	124人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	4人	3人	1人
		辞退者数	8人	16人	3人	5人	6人	8人
	実人数	志願者数	216人	254人	198人	179人	100人	189人
		受験者数	207人	250人	191人	176人	92人	183人
		合格者数	120人	146人	119人	150人	87人	124人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	4人	3人	1人
		辞退者数	8人	16人	3人	5人	6人	8人
	入学者数	50人	55人	50人	53人	33人	48人	
	共通テスト利用入試	募集人数	8人	8人	8人	9人	8人	8人
延べ人数		志願者数	82人	89人	91人	86人	51人	80人
		受験者数	82人	89人	91人	86人	51人	80人
		合格者数	42人	45人	43人	47人	35人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	4人	3人	2人	3人	3人
実人数		志願者数	82人	89人	91人	86人	51人	80人
		受験者数	82人	89人	91人	86人	51人	80人
		合格者数	42人	45人	43人	47人	35人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	4人	3人	2人	3人	3人
入学者数		9人	7人	0人	2人	4人	4人	
その他の特別選抜		募集人数	若干名	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	1人					1人
		受験者数	1人					1人
		合格者数	1人					1人
		うち追加合格者数	0人					0人
		辞退者数	0人					0人
	実人数	志願者数	1人					1人
		受験者数	1人					1人
		合格者数	1人					1人
		うち追加合格者数	0人					0人
		辞退者数	0人					0人
	入学者数	1人					1人	
	合計	募集人数	80人	80人	80人	90人	90人	84人
延べ人数		志願者数	345人	376人	329人	294人	184人	306人
		受験者数	336人	372人	322人	291人	176人	299人
		合格者数	201人	222人	202人	223人	153人	200人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	4人	3人	1人
		辞退者数	10人	20人	6人	7人	9人	10人
実人数		志願者数	345人	376人	329人	294人	184人	306人
		受験者数	336人	372人	322人	291人	176人	299人
		合格者数	201人	222人	202人	225人	153人	201人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	4人	3人	1人
		辞退者数	10人	20人	6人	7人	9人	10人
入学者数		98人	93人	90人	83人	68人	86人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	80人	80人	80人	90人	90人	84
入学定員充足率	1.23	1.16	1.13	0.92	0.76	1.04
歩留率	0.49	0.42	0.45	0.37	0.44	0.43

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 総合型入試はR5年度入試から実施。
 R2年その他の特別選抜は社会人入学試験。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：藤女子大学文学部のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	468人	532人	①取組概要 受験希望者を対象として、キャンパスを開放し、学科紹介、模擬授業、個別相談、施設見学等を実施。 R4入試対象(R3開催)：計4回開催(3/27、6/12、7/24、9/18) R5入試対象(R4開催)：計4回開催(3/26、6/11、7/23、9/17) ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパスに参加した学生の満足度は高く、受験、入学に結び付く確率は高い。
うち受験対象者数(b)	280人	332人	
うち受験者数(c)	190人	228人	
うち入学者数(d)	162人	197人	
(受験率 c/b)	68%	69%	
(入学率 d/b)	58%	59%	

②-1 募集を行った学科等名称及び取組の名称：藤女子大学の大学案内送付(郵送)

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)		4250人	①取組概要 本学への資料請求のあった受験希望者へ大学案内を送付(入試要項、過去問題集等本人が希望する資料も合わせて送付) ※志望学科の特定はしていない。R4年度の人数は追えていない。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ②-2の欄に記載。
うち受験対象者数(b)		不明	
うち受験者数(c)		496人	
うち入学者数(d)		298人	
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#VALUE!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#VALUE!	

②-2 募集を行った学科等名称及び取組の名称：藤女子大学の大学案内送付(郵送)

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 本学への資料請求のあった受験希望者へ大学案内を送付(入試要項、過去問題集等本人が希望する資料も合わせて送付) ※②-1のうち、高3女子の初回アクセスのみの数。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 大学案内を郵送で入手し受験する割合は10%ほど。資料請求者を増やすことで受験生を獲得できる可能性はあるので、Web広告などの媒体利用も検討中である。
うち受験対象者数(b)	3226人	3521人	
うち受験者数(c)	472人	355人	
うち入学者数(d)	不明	209人	
(受験率 c/b)	15%	10%	
(入学率 d/b)	#VALUE!	6%	

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	ワタベ ヨズミ 渡邊 頼純 <令和6年4月>	71	国際学修士 (上智大学)	812	藤女子大学学長 (令和6年4月)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。